

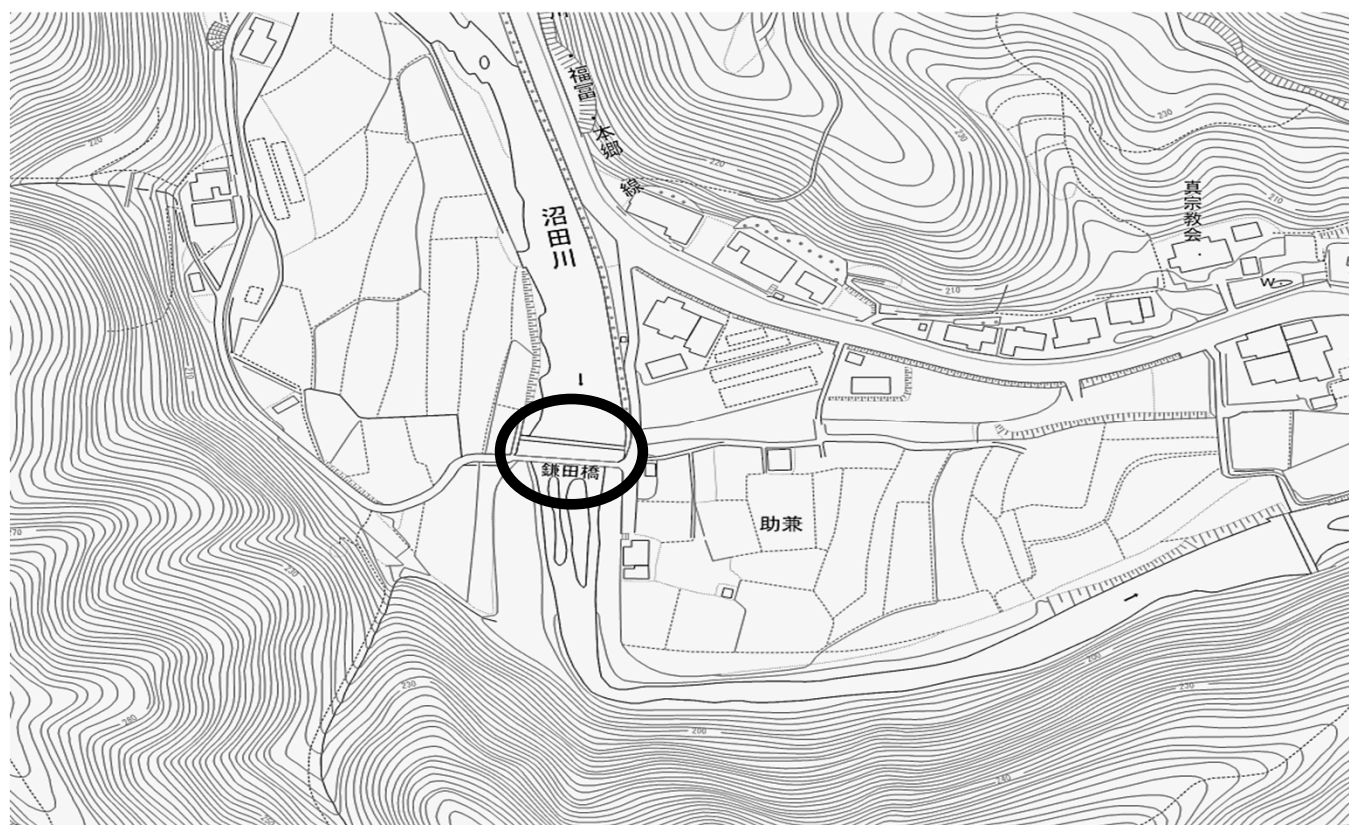
令和8年度

橋梁長期保全事業

鎌田橋橋梁補修工事

仕様書

施 工 箇 所 東広島市河内町河戸



特記仕様書

(令和8年度 橋梁長期保全事業 鎌田橋橋梁補修工事)

第1章 総則

1. 適用
2. 前払金
3. 現場代理人の兼務
4. 現場作業終期日
5. 履行報告
6. 官公庁等への手続き等
7. 工事中情報共有システム（発注者指定型）
8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について
10. 法定外の労災保険の付保
11. 週休2日適用工事等 週休2日
12. 建設副産物の取り扱いについて
13. 猛暑時間の施工回避
14. 猛暑日等を考慮した工期延長について
15. 熱中症による健康障害発生時の対応計画

第2章 施工条件

1. 工程
 - (1) 関係機関との協議
2. 安全対策
 - (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
3. 建設副産物
 - (1) 建設発生土(搬出)（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)）
 - (2) コンクリート殻(無筋)(搬出)
 - (3) アスファルト殻(搬出)
4. その他
 - (1) 塗膜に含まれる鉛等の含有量について
 - (2) 塗膜くず等の処分について
 - (3) 作業主任者
 - (4) 塗膜剥離中の防護について
 - (5) 塗膜剥離試験について

第3章 施工管理

1. 品質管理
 - (1) 断面修復工

第4章 その他

1. 工事関係書類
2. 工事写真
3. 疑義の解決等

特記仕様書

第1章 総則

1. 適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）」及び東広島市制定の第15編下水道編(最新版)に基づいて実施しなければならない。
この場合においては、次のとおりとする。

- (1) 「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。（ただし、第1編第1章第1節1-1-1-26第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。）
- (2) 「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。
- (3) 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。
- (4) 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。
- (5) 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。
- (6) 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。
- (7) 「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」」と読み替える。
- (8) 「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。
- (9) 「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。
- (10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と「建設業者等指名除外要綱別表第18号」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱別表第22号」と読み替える。
- (11) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。
- (12) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。

(13) その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2. 前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあつては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

- ・建設工事請負代金前金払実施要領
- ・建設工事請負代金中間前金払実施要領
- ・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3. 現場代理人の兼務

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
 - 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
 - 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
 - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
 - (2) 兼務を承認した日から起算して14日（東広島市の休日を定める条例（平成元年東広島市条例第6号）第1条第1項に規定する市の休日を除く。）を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
 - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
 - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。
- ※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあつては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあつては平成17年2月7日前の町の区域とする。

4. 現場作業終期日

本工事の施工に当たっては、工期末の30日前までに、下記の作業を終了しなければならない。

なお、現場作業終期日までに適時、速やかに「土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版」第1編1-1-1-23第2項第3号に記載してある出来高が確認できる資料を監督職員に提出しなければならない。

5. 履行報告

履行報告の提出にあたっては、実施工程表と平面図（施工済み箇所を着色）又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月7日までに提出すること。

6. 官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面（写し）を提出するものとし、更新手続き（許可内容が同じもの）の場合は、届出等の鑑のみとする。

7. 工事中情報共有システム（発注者指定型）

- (1) 本工事は、工事中情報共有システムの対象（発注者指定型）である。
- (2) 工事中情報共有システムを利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
- (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。

広島県工事中情報共有システム（一般社団法人 広島県土木協会）
<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html>
- (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
- (5) 利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。

(6) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。

この場合においては、次のとおりとする。

- 1) 「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。
- 2) 「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
- 3) 「4.検査」は適用しない。
- 4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
- 5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- (2) 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。）、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- (3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。
ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- (4) 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
- (5) 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。
- (6) 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。
- (7) 積算方法は次のとおりとする。

1) 補正方法

ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。
なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。

イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期

ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2

2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。

- (8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。
- (9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

10. 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）全国建設業労災互助会、全日本火災共済協

同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

11. 週休2日適用工事等 週休2日

本工事は、週休2日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休2日適用工事等実施要領（最新版）」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要がある様式「休日取得計画表」は「検査課HP＞施工関連資料＞週休2日適用工事等の実施について」に掲載している。

12. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m³以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土の搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

13. 猛暑時間の施工回避

- 1 本工事は、現場環境に応じて猛暑時間帯の現場作業を回避し、作業の開始時間や終了時間を発注者と協議し設定できる工事である。

- 2 実施方法は次のとおりとする。

(1) 内容

ア 受注者は、現場環境に応じて猛暑時間帯の現場作業を回避し、作業の開始時間や終了時間を監督職員と協議し設定できる。

イ 作業時間を短縮した場合は、短縮時間に応じて、工期を延長することができるものとする。

ウ 工事における現地の立会等については、監督職員の勤務時間に合わせるものとする。

エ 対象期間は、6月1日から9月30日までとする。

(2) 工期延長日数の算出方法

工期の延長日数^{※1}(日)＝短縮時間(時間)×対象期間^{※2}(日)÷8(時間)

なお、猛暑日等による作業不能日とは、別に考慮できるものとする。

※1 小数第1位を切り上げるものとする。

※2 現場閉所日を含む。

3 作業時間の変更に伴う工事費の増額については、設計変更の対象としない。

14. 猛暑日等を考慮した工期延長について

1 本工事は、工期に「猛暑日等による作業不能日」として、休日(土日、祝日、年末年始休暇及び夏期休暇)、降雨降雪日及び猛暑日日数を5日見込んでいる。

「猛暑日等による作業不能日」＝施工に必要な実日数×雨休率

雨休率(休日、降雨降雪日及び猛暑日日数による作業不能日を見込むための係数)： 0.78

雨休率に見込んでいる作業不能日は、次のとおりである。(過去5年間の気象庁及び環境省のデータより年間の平均発生日数を算出)

(1) 1日の降雨・降雪量が10mm/日以上の日： 31日/年

(2) 8時から17時までのWBGT値が31以上の時間を足し合わせた日数： 5日/年

2 ・著しい悪天候や気象状況より「猛暑日等による作業不能日」が当初見込んでいる日数と著しく乖離し、かつ作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は監督職員へ工期の延長変更を協議することができる。

・受注者は、協議の際に気象庁及び環境省の計測データ等を監督職員へ提出すること。計測データは、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所及び環境省が公表している観測地点を用いることを標準とする。

なお、提出する必要のある様式「猛暑日等による作業不能日算出表」は「広島県の調達情報HP>公共工事等の情報_様式集>建設工事関係_その他契約関係様式」に掲載している。

・費用は、工期延長日数に応じて「工事における工期の延長等に伴う増加費用の積算」(土木工事標準積算基準書(共通編)第I編総則 第9章)に基づき増加費用を積算し、変更契約において計上する。

15. 熱中症による健康障害発生時の対応計画

1 猛暑による厳しい環境下での現場作業^{*}が見込まれる工事を対象とする。

※WBGT28度以上又は気温31度以上の環境下で、連続1時間以上又は1日4時間を超える作業

2 受注者は、熱中症のおそれがある労働者を把握した場合に、迅速かつ的確な判断ができるよう、「緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先や所在地」及び「作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送等の熱中症による重篤化を防止するために必要な措置の実施手順」などを施工計画書の「緊急時の体制及び対応」項目に記載するとともに、工事関係者へ周知すること。

第2章 施工条件

1. 工程

(1) 関係機関との協議

協議内容	河川管理者(広島県)と河川占用の許可及び漁協と協議後着手
範囲	橋面工を除く範囲

2. 安全対策

(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員 ・交通誘導警備員の配置人数は、工事着手後、規制を要する日から19人を見込んでいる。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の人数変更が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

3. 建設副産物

(1) 建設発生土(搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合

計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離

土砂・砂質土・礫質土

（名称） 有限会社広剛産業福富残土処分場1
（所在地） 東広島市福富町上戸野大井出1460-1
（運搬距離） 7.4 km

(2) コンクリート殻（無筋）（搬出）

当該工事により発生するコンクリート殻（無筋）は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用（単価）は変更しない。

また、運搬距離は 13.8 km を見込んでいる。

(3) アスファルト殻（搬出）

当該工事により発生するアスファルト殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用（単価）は変更しない。

また、運搬距離は 11.0 km を見込んでいる。

4. その他

(1) 塗膜に含まれる鉛等の含有量について

本工事の対象橋梁が含有する鉛等の量は次のとおりである。必要な安全対策を施して施工すること。

○含有量試験

【鎌田橋】

鉛：13000mg/kg

総クロム：1700mg/kg

ポリ塩化ビフェニル：0.56mg/kg

(2) 塗膜くず等の処分について

塗膜にPCBを0.5mg/kg～100,000mg/kg含有する塗膜くず等は、特別管理産業廃棄物（特別含有管理産業廃棄物）の低濃度PCB廃棄物に当たるため、工事では処分できない。

含有する工事箇所の場合には、発生した塗膜くずと塗膜付着物に分別してドラム缶（少量の場合はペール缶）に入れて保管すること。

なお、運搬・処分については、別途発注者側で対応することとしている。

(3) 作業主任者

受注者は塗膜剥離作業中において鉛作業主任者を配置すること。

(4) 塗膜剥離中の防護について

橋梁等の塗料を剥がす作業において、様々な剥離剤が使用されているが、剥離剤に含まれる化学物質への「引火による火災」や「吸入による中毒」事案が頻発している状況にあり、原因物質の中には、特定化学物質障害予防規則（昭和47年労働省令第39号）、有機溶剤中毒予防規則（昭和47年労働省令第36号）などの法令（以下「特化則等」という。）による規制の対象となっている物質以外の物質も含まれている。

このため、塗膜剥離剤を使用する作業において発生した労働災害の事例、剥離剤に含まれる化学物質の危険有害性、剥離剤を使用する作業において講ずべき措置などについて、法令で規制されているか否かにかかわらず、化学物質の危険有害性を踏まえた適正な使用を行うこと。

なお、防護に必要な資材（負圧集塵装置、真空掃除機等）については、現場条件の変更等により数量の変更が必要な場合は、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

(5) 塗膜剥離試験について

事前に塗膜剥離試験を行い、現場条件に適した塗膜剥離剤の選定及び剥離剤塗布回数（剥離回数）を設定する。

第3章 施工管理

1. 品質管理

(1) 断面修復工

本工事において、断面修復工の品質管理は下記のとおり行うこと。

試験項目	試験方法	規格値	測定箇所	摘 要
引張強度試験		1.5N/mm ² 以上	供試体	

第4章 その他

1. 工事関係書類

- (1) 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領「土木工事編」によるものとする。
- (2) 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2. 工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準（令和7年8月）」によるものとし、納品に当っては、電子媒体又は紙媒体、情報共有システム登録のいずれかとする。

なお、電子納品物は「広島県電子納品実施要領」に準拠し、作成すること。

3. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
橋梁保全工事		式		1	レベル1
橋梁補修工		式		1	レベル2
桁端補修工		式		1	レベル3
桁端補修工		箇所		6	レベル4
支承取替工		式		1	レベル3
支承取替	【支承形式I 下部工ブラケット取付の無】 【支承直下部以外のはつりの無】	基		9	レベル4
ひび割れ補修工		式		1	レベル3
低圧注入工法	補修延べ延長L=6.9m エポキシ樹脂系3種注入材	構造物		1	レベル4
断面修復工		式		1	レベル3
左官工法	V=1.05m3 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有】	構造物		1	レベル4
根巻工		式		1	レベル3
根巻工	18N	箇所		3	レベル4
表面保護工		式		1	レベル3
下地処理工	水洗い・サンダーケレン	m2		114	レベル4
含浸材塗布工	ケイ酸塩系表面含浸材	m2		114	レベル4
下部補修工		式		1	レベル3
パラペット設置工	18N	箇所		1	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
舗装工		式		1	レベル2
アスファルト舗装工		式		1	レベル3
ひび割れ補修工		m		3	レベル4
表層(車道・路肩部)	再生密粒度As 1層当り平均仕上厚30mm	m2		19	レベル4
橋梁付属物工		式		1	レベル2
伸縮継手工		式		1	レベル3
伸縮目地補修工		m		17.7	レベル4
水切り工		式		1	レベル3
水切り工	EPDM系	m		87	レベル4
現場塗装工		式		1	レベル2
塗膜除去工		式		1	レベル3
塗膜除去工	塗布回数2回	m2		420	レベル4
廃材回収・積込	塗膜くず	m2		210	レベル4
塗膜除去養生設備・シート設置撤去	シート設置撤去回数2回	m2		375	レベル4
橋梁塗装工		式		1	レベル3
塗替塗装	清掃・水洗い	m2		210	レベル4
素地調整	素地調整2種	m2		210	レベル4
下塗り塗装	防食下地 有機ジンクリッチペイント（2回塗り/層）	m2		210	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0003

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
下塗り塗装	下塗り塗装 変性エポキシ樹脂塗料（2層）	m2		210	レベル4
中塗り塗装	中塗り塗装 ふっ素樹脂塗料	m2		210	レベル4
上塗り塗装	上塗り塗装 ふっ素樹脂塗料	m2		210	レベル4
構造物撤去工		式		1	レベル2
構造物取壊し工		式		1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版	式		1	レベル4
舗装版破碎	アスファルト舗装版	m2		19	レベル4
運搬処理工		式		1	レベル3
殻運搬	アスファルト殻	m3		0.8	レベル4
殻運搬	コンクリート殻（無筋）	m3		1	レベル4
殻処分	アスファルト殻	t		2	レベル4
殻処分	無筋コンクリート殻	t		3	レベル4
スクラップ処分費		t		0.5	レベル4
現場発生品運搬		式		1	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
仮設工		式		1	レベル3
足場工	安全ネット シート防護 朝顔両側設置	m2		190	レベル4
仮受工		空m3		50	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0004

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
環境対策資機材	負圧集塵装置、吸気・排気ダクト、真空掃除機	式		1	レベル4
土留・仮締切工		式		1	レベル3
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		19	レベル4
※※直接工事費※※					
技術管理費					
技術管理費		式		1	レベル2
技術管理費		式		1	レベル3
塗膜剥離試験	3種3回程度	式		1	レベル4
安全費					
安全費		式		1	レベル2
安全費		式		1	レベル3
呼吸用保護具等費用		式		1	レベル4
共通仮設費率分					
※※共通仮設費計※※					
※※純工事費※※					
現場管理費					
※※工事原価※※					

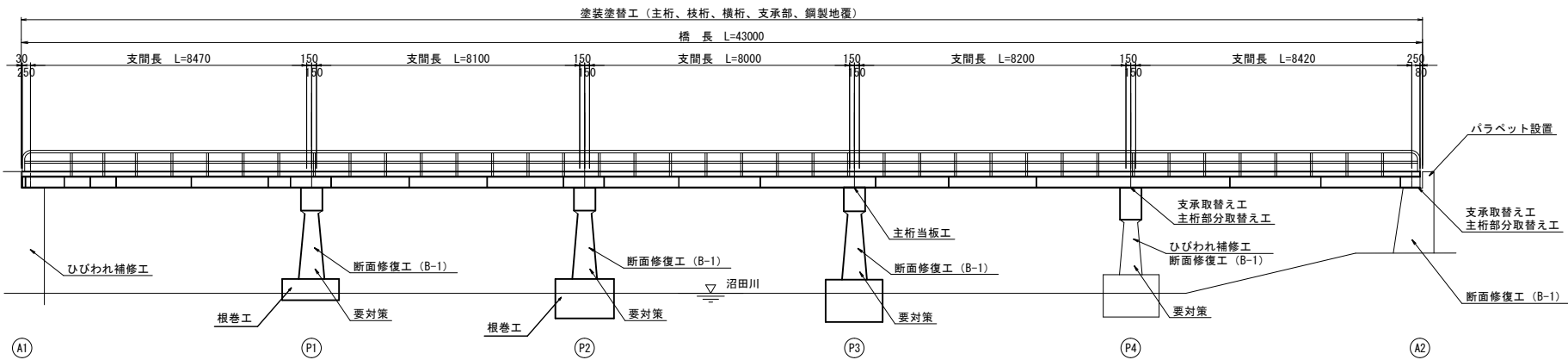
工事数量総括表

頁0 -0005

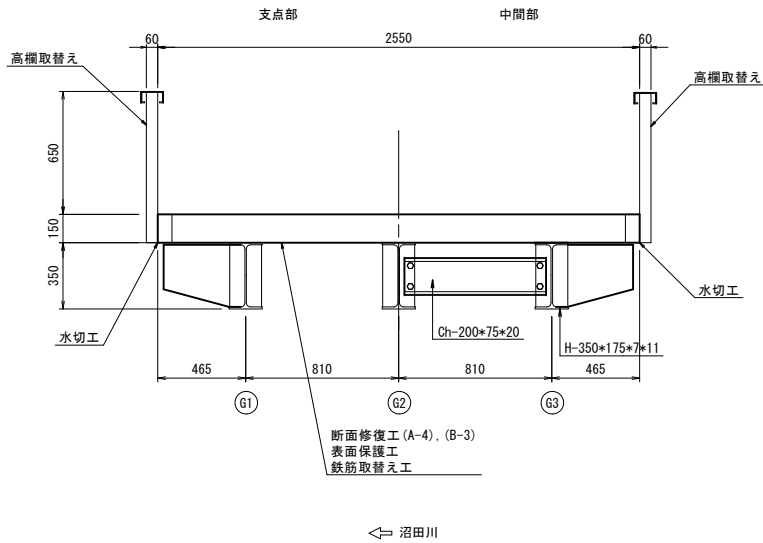
[illegible]

鎌田橋 補修一般図 (1)

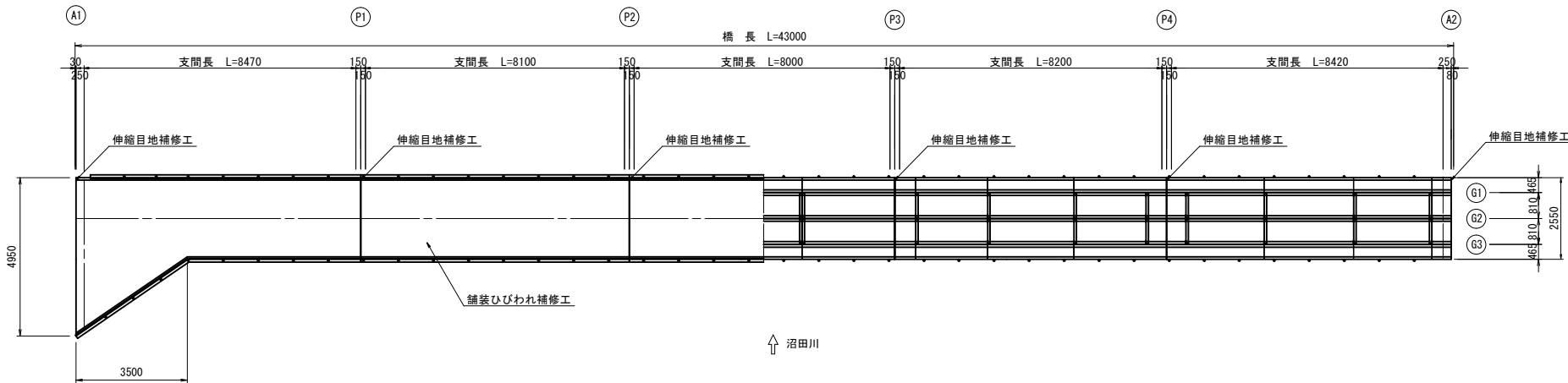
側面図 S=1:100



標準断面図 S=1:20



平面図 S=1:100



橋梁補修一覧表

工 種	内 容	対象部材	工 種	内 容	対象部材
ひびわれ補修工	ひび割れ内に注入器具を使用し低圧にてエポキシ樹脂系注入材を注入する。	A1橋台、P4橋脚	支取替え工	既設支索と同様の形状で製作した支索で、損傷箇所のみ取替えを行う。	支索
断面修復工 (A-4)	劣化コンクリートの除去後、鉄筋の裏側まではつり出し、鉄筋防錆処理を行い塩分吸着剤配合ポリマーセメントモルタル系材料にて塗りにより復旧する。	床版	主桁部分取替え工	主桁の著しい板厚減少がみられ、当て板では対策困難な箇所について部分取替を行う。	主桁
断面修復工 (B-1)	劣化コンクリートを除去後、ポリマーセメント系材料にて塗りにより復旧する。	A2橋台、P1橋脚、P2橋脚、P3橋脚、P4橋脚	主桁当板工	主桁の著しい板厚減少がみられる箇所について、当て板補修工を行う。	主桁
断面修復工 (B-3)	劣化コンクリートの除去後、塩分吸着剤配合ポリマーセメントモルタル系材料で吹付により復旧する。	床版	舗装ひびわれ補修工	アスファルト舗装のひび割れに対して、ブローンアスファルトによる舗装表面の補修を行う。	舗装
表面保護工	躯体表面を洗浄後、ケイ酸ナトリウム系含浸材を塗布する。	床版	パラベット設置	パラベットが設置されていない橋台について、橋台に荷重の負担がからない構造 (重力式擁壁) にてパラベットを設置する。	A2橋台
伸縮目地補修工	伸縮目地前後の舗装を剥ぎ取り、目地劣化部を除去し、バックアップ材及び注入目地材を充填する。さらに上面にクラック抑制シートを設置し、舗装を復旧する。	伸縮装置	土砂撤去	堆積した土砂を撤去する。	A2橋台
鉄筋取替え工	鉄筋露出により、腐食し破断した鉄筋に対して同径の鉄筋を設置し補修を行う。	床版	要対策	調査の結果、橋脚について根本的な補強が必要となる状況であることが判明した。よって、本設計においては「維持管理的対策」として、必要な箇所にひび割れ補修工、断面修復工として数量計上を行い、「補強対策」として今後の調査等で詳細な対策工を検討していく予定である。	P1橋脚、P2橋脚、P3橋脚、P4橋脚
橋脚増え工	橋脚下部の擦り減り等の損傷を補修を行うこと。	橋脚	塗装塗替工	塗膜剥離剤等による素地調整後、Ro-II塗装仕様にて塗替えを行う。	主桁、枝桁、横桁、支索部、鋼製地覆
高欄取替え工	既設の高欄を撤去し、取替えを行う。	高欄			
水切工	躯体表面を洗浄後、EPDMスポンジにて新設する。	床版			

本図は現地簡易計測結果をもとに作成したものである。
施工前に本図をもとに詳細計測を行い、補修材料の仕様・数量等を確定し施工すること。

橋梁諸元表

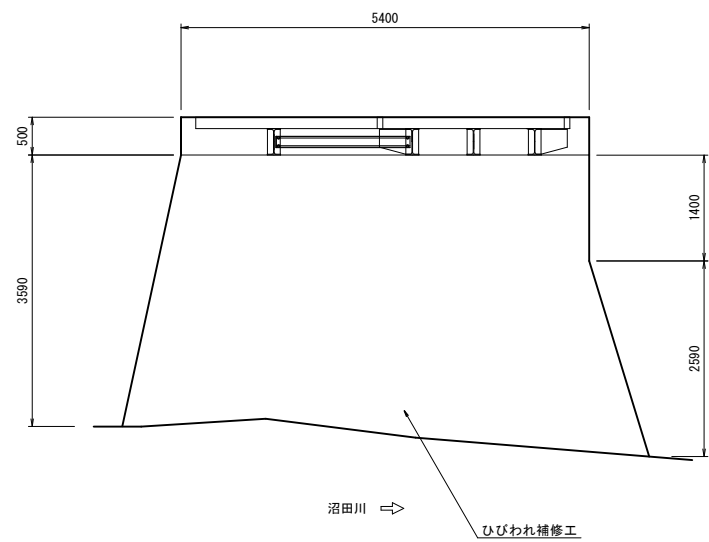
路線名	助業山根線
橋 名	鎌田橋
橋 種	鋼橋
橋 格	不明
橋 長	43.000m
有効幅員	2.550m
橋台形式	重力式橋台
橋脚形式	壁式橋脚
竣工年	1963年
交差物件	二級河川沼田川水系沼田川

〈鎌田橋〉

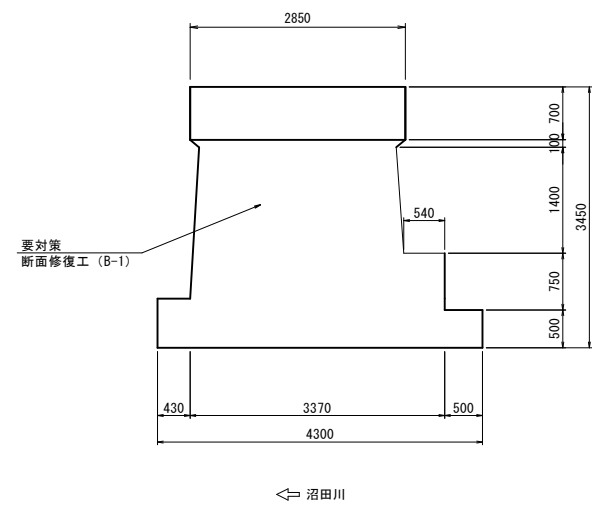
図面番号	1 / 20	縮 尺	図 示	
工 種	橋梁補修工事			
種 別	鎌田橋 補修一般図 (1)		番 号	/
路線河川 名	助業山根線			
工事箇所	東広島市河内町戸野			
東 広 島 市				

鎌田橋 補修一般図 (2) S=1:50

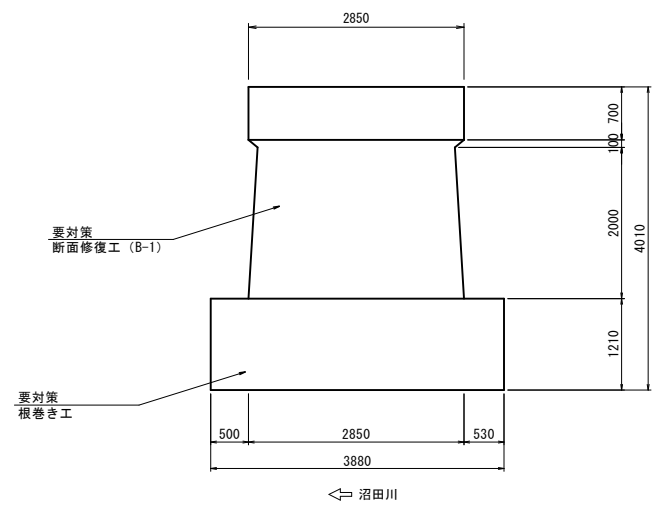
A1橋台正面図



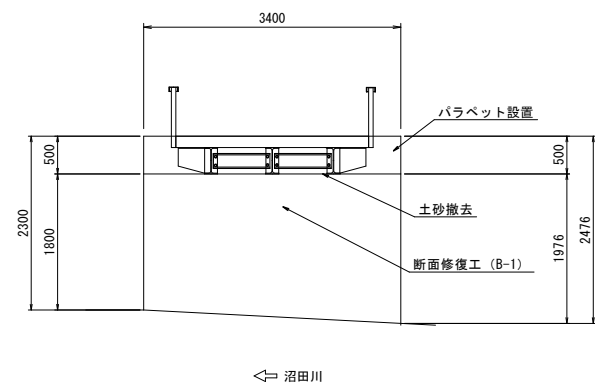
P1橋脚正面図 (A1側)



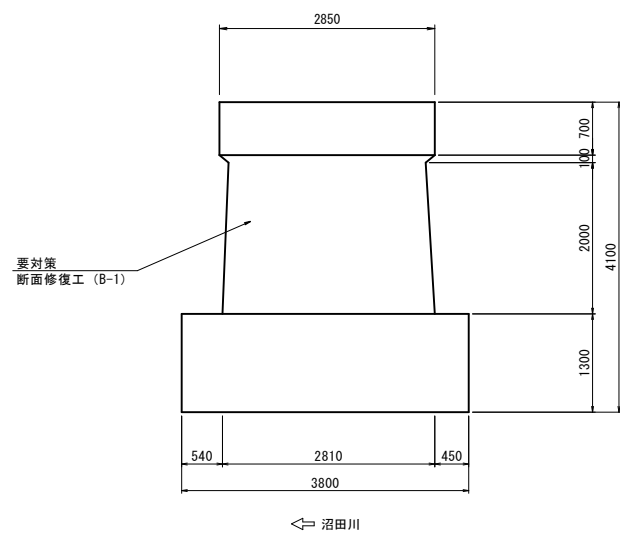
P2橋脚正面図 (P1側)



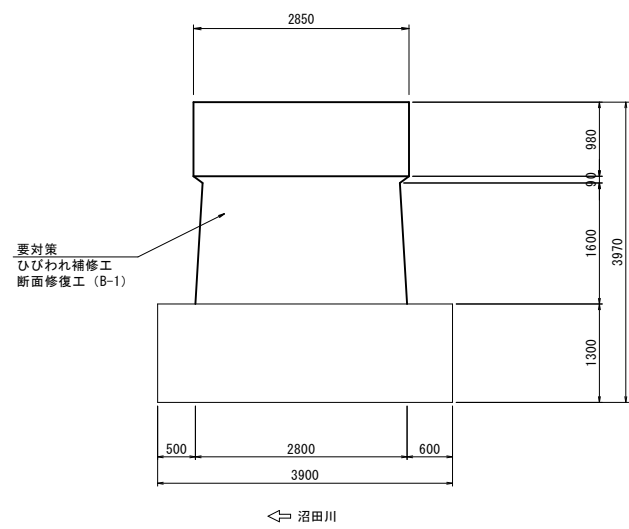
A2橋台正面図



P3橋脚正面図 (P2側)



P4橋脚正面図 (P3側)



橋梁諸元表

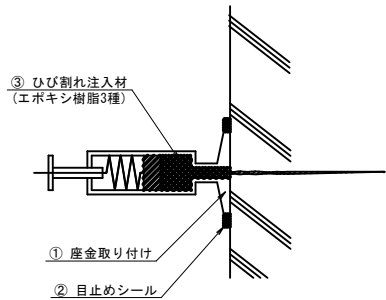
路線名	助兼山根線
橋 名	鎌田橋
橋 種	鋼橋
橋 格	不明
橋 長	43.000m
有効幅員	2.550m
橋台形式	重力式橋台
橋脚形式	壁式橋脚
竣工年	1963年
交差物件	二級河川沼田川水系沼田川

＜鎌田橋＞

図面番号	2 / 20	縮 尺	S=1:50
工 種	橋梁補修工事		
種 別	鎌田橋 補修一般図 (2)	番 号	/
路線 河川 名	助兼山根線		
工事箇所	東広島市河内町戸野		
東 広 島 市			

鎌田橋 補修詳細図 (1)

びびわれ注入工
(エポキシ樹脂系注入材 3種)



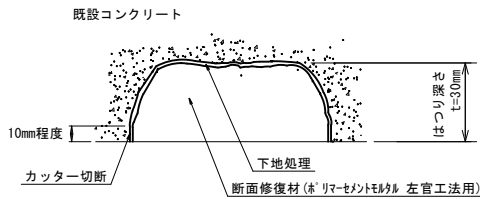
※ 施工手順

- 1 表面処理
- 2 座金取り付け
- 3 シール材塗布
- 4 エポキシ樹脂系注入材 3種 注入
- 5 養生
- 6 仕上げ

※ 注

1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。
2. 注入対象となるひびわれは、ひびわれ幅0.2mm以上のものとする。
3. ひびわれ注入深さは、上部工50mm、下部工100mmを想定しているが、ひびわれの最深部まで確実に注入すること。
4. 注入パイプの間隔は、25cm程度とする。
5. 注入材はエポキシ樹脂系注入材 3種を使用する。
6. 施工の適正気温及び養生方法を確認し、施工を行うこと。

断面修復工 (B-1)
(ポリマーセメントモルタル)



※ 施工手順

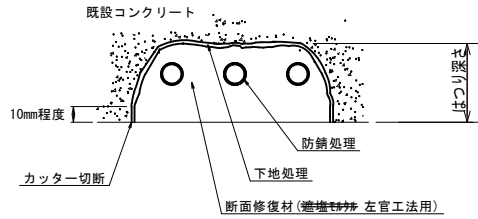
- 1 カッター切断
- 2 コンクリートはつり
- 3 下地処理
- 4 断面修復材こて塗り

※ 注

1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。
2. 劣化、不良コンクリートのはつりは、健全部に損傷をあたえないよう周囲に深さ1cm程度コンクリートカッターにより切断目地を入れ、入念に施工する。(はつり深さは 30mmを想定。)
3. 使用材料
断面修復材
ポリマーセメントモルタルとし、「表面保護工法 設計施工指針 (案)
[工法別マニュアル編] 平成17年土木学会」に示す断面修復材の規格を満足するものとする。

力 学 的 性 能	
要求性能	設計及び施工条件
圧縮強度	躯体コンクリートと同等な強度特性を有すること (圧縮強度：30N/mm2以上)
付着強度	躯体コンクリートと一体となること (1.5N/mm2以上 建研式)

断面修復工 (A-4)
(塩分吸着剤配合ポリマーセメントモルタル)



※ 施工手順

- 1 カッター切断
- 2 コンクリートはつり
- 3 下地処理
- 4 防錆ペースト塗布
- 5 断面修復材こて塗り

※ 注

1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。
2. 劣化、不良コンクリートのはつりは、健全部に損傷をあたえないよう周囲に深さ1cm程度コンクリートカッターにより切断目地を入れ、入念に施工する。(はつり深さは 主鉄筋の裏側までとし、上部工60mm、下部工100mmを想定。)
3. 使用材料
断面修復材
ポリマーセメントモルタルとし、「表面保護工法 設計施工指針 (案)
[工法別マニュアル編] 平成17年土木学会」に示す断面修復材の規格を満足するものとする。
~~また、遮塩モルタルRP-200同等品とする (SSI工法：NETIS：KK-100009-V同等)。~~

力 学 的 性 能	
要求性能	設計及び施工条件
圧縮強度	躯体コンクリートと同等な強度特性を有すること (圧縮強度：30N/mm2以上)
付着強度	躯体コンクリートと一体となること (1.5N/mm2以上 建研式)

~~防錆ペーストは塩分吸着型 (SSI工法：NETIS：KK-100009-V同等品相当) とし、塗布厚は2mm (2.8kg/m2) を標準とする。(塩化物イオン含有量2kg/m3以上4kg/m3未満)~~

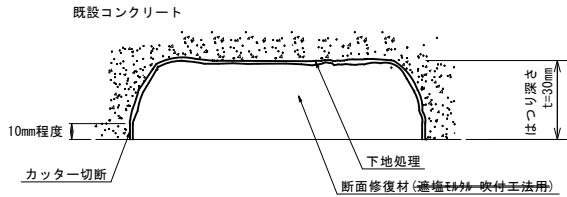
<鎌田橋>

図面番号	3 / 20	縮 尺	—
工 種	橋梁補修工事		
種 別	鎌田橋 補修詳細図 (1)	番 号	/
路線 河川 名	助兼山根線		
工事箇所	東広島市河内町戸野		
東 広 島 市			

鎌田橋 補修詳細図 (2)

断面修復工 (B-3)

(塩分吸着剤配合ポリマーセメントモルタル)



※ 施工手順

- 1 カッター切断
- 2 コンクリートはつり
- 3 下地処理
- 4 断面修復材吹付

※ 注

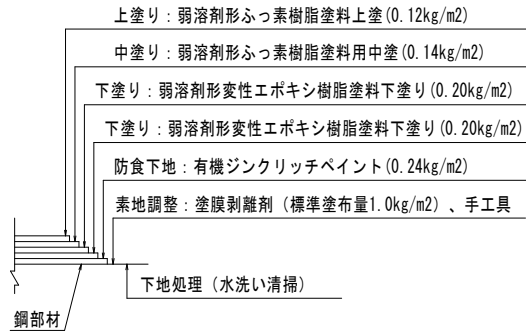
1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。
2. 劣化、不良コンクリートのはつりは、健全部に損傷をあたえないよう周囲に深さ1cm程度コンクリートカッターにより切断目地を入れ、入念に施工する。(はつり深さは 30mmを想定。)
3. 使用材料
断面修復材
ポリマーセメントモルタルとし、「表面保護工法 設計施工指針(案) [工法別マニュアル編] 平成17年土木学会」に示す断面修復材の規格を満足するものとする。
~~また、遮塩モルタルRP-200同等品とする (SS1工法-NEFIS-KK-100009-V同等)~~

力 学 的 性 能	
要求性能	設計及び施工条件
圧縮強度	躯体コンクリートと同等な強度特性を有すること (圧縮強度：30N/mm2以上)
付着強度	躯体コンクリートと一体となること (1.5N/mm2以上 建研式)

~~防錆ペーストは塩分吸着型 (SS1工法-NEFIS-KK-100009-V同等品相当) とし、塗布厚は2mm (2.8kg/m2) を標準とする。(塩化物イオン含有量2kg/m3以上4kg/m3未満)~~

塗装塗替え工

(Rc-II)



※ 施工手順

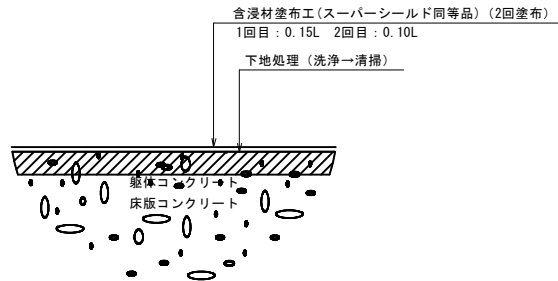
- 1 下地処理 (水洗い清掃)
- 2 素地調整 (塗膜剥離剤、手工具による仕上げ)
- 3 防食下地
- 4 下塗り工
- 5 中塗り工
- 6 上塗り工

※ 注

1. 施工の適正気温及び養生方法を確認し、施工を行うこと。
2. 下地処理は泥やコケなど、素地調整に支障となる付着物を除去する。処理方法は水洗いを想定しているが、現地条件等を考慮し協議決定する。
3. 素地調整は2種ケレン以上とする。
塗膜剥離剤による剥離後、手工具により仕上げ素地調整を行う。
その際、健全な防食下地 (ジンクリッチプライマー等) は残すものとする。
4. 塗膜剥離剤の使用量、使用回数は現地試験施工等により協議決定する。
5. 塗装仕様はRc-II (鋼道路橋防食便覧 平成26年3月/日本道路協会) に準ずる。
なお防食下地の使用量は、上記3. の方針により0.24kg/m2を目安とする。
ただし、現地状況より既存の防食下地が健全でない場合にはこれを全面除去し、使用量は0.60kg/m2とする (協議決定する)。
6. ハケ、およびローラーによる施工である。

コンクリート 表面保護工

(反応型ケイ酸塩系表面含浸材)



※ 施工手順

- 1 開 始
- 2 下地処理
- 3 養生 (表面半乾燥)
- 4 1次管理テスター設置 (20m2に1枚程度)
- 5 1次スーパーシールド塗布 (0.15L/m2)
- 6 養生 (表面半乾燥)
- 7 2次管理テスター設置 (20m2に1枚程度)
- 8 2次スーパーシールド塗布 (0.10L/m2)
- 9 終 り

※ 注

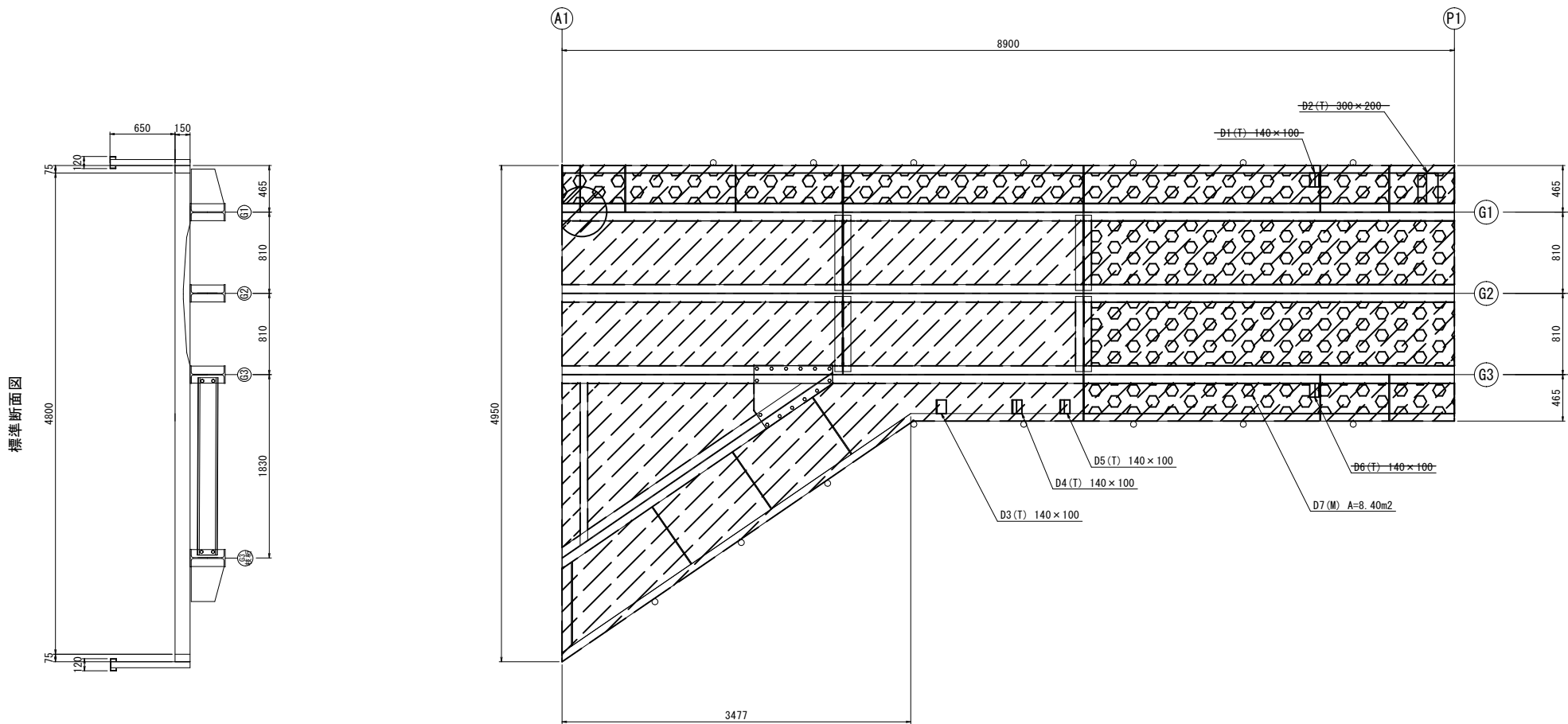
1. 含浸材塗布はコンクリート面を湿润状態にして行い、塗布後も含浸を促進するため散水養生すること。
2. 下地処理は基本的に散水や高圧洗浄処理で洗い流す程度であり、著しい凹凸や付着物等の含浸性を阻害する要因となるものについてはブラスト処理やケレンによって除去・清掃すること。
3. 含浸工はスーパーシールド同等品を参考に示すが、別途製品を使用する場合は同等の機能効果を有する製品を使用し、その仕様に従順すること。

<鎌田橋>

図面番号	4 / 20	縮 尺	—
工 種	橋梁補修工事		
種 別	鎌田橋 補修詳細図 (2)	番 号	/
路線 名 河川	助兼山根線		
工事箇所	東広島市河内町戸野		
東 広 島 市			

鎌田橋 上部工補修図 S=1:30
(1径間)

補修工法凡例		
記 号	損 傷 種 類	補修対策工法
	ひびわれ (W=0.2mm~1.0mm未満) (C)	ひびわれ注入工
	ひびわれ (W=1.0mm以上) (C)	ひびわれ充填工
	う き (U)	断面修復工
	剥 離 (H)	断面修復工
	剥離・鉄筋露出 (T)	断面修復工
	欠 損 (K)	断面修復工
	摩 耗・浸 食 (S)	断面修復工
	豆 板 (M)	断面修復工
	コンクリート表面劣化部	表面保護工



断面修復工 (B-3) 数量表 (上部工) 深さ0.03m

測点	面積 (m2)
D7 (M)	8.40

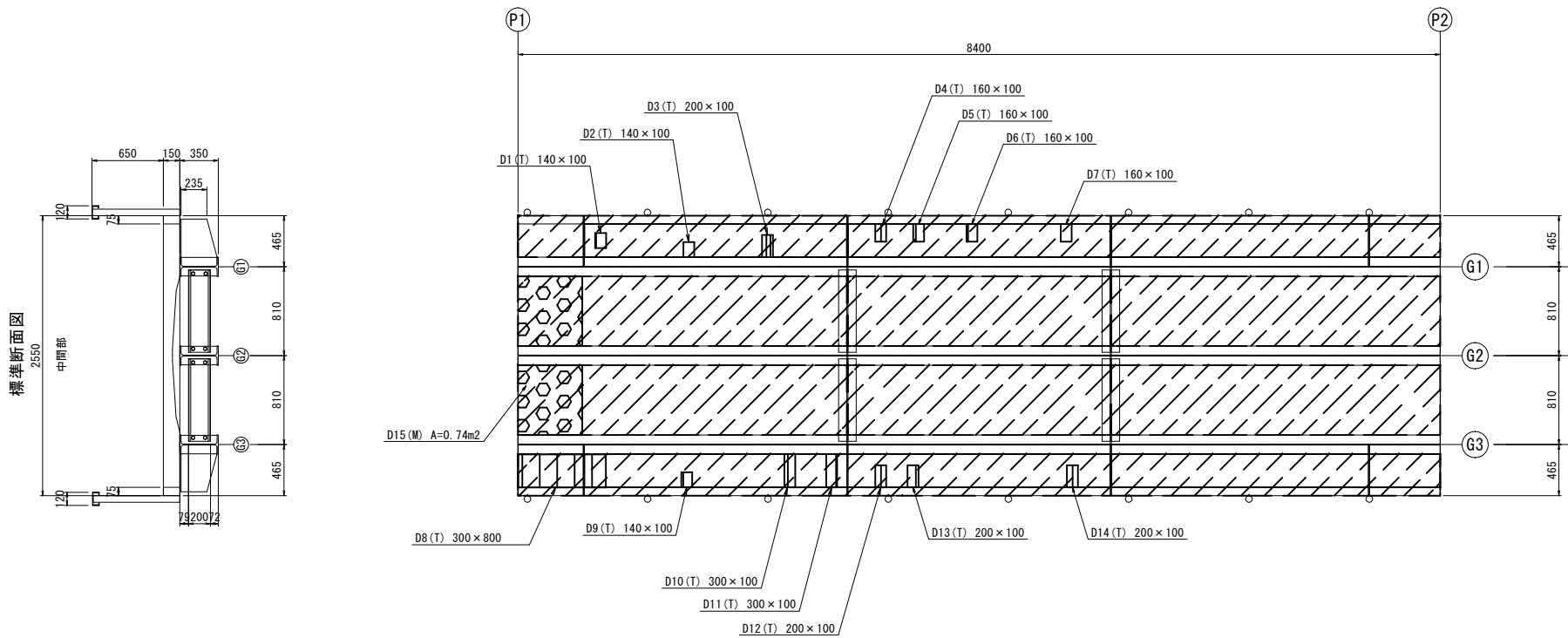
断面修復工 (A-4) 数量表 (上部工) 深さ 0.06m

測点	寸法	面積 (m2)
D1 (T)	0.14 × 0.10	0.01
D2 (T)	0.30 × 0.20	0.06
D3 (T)	0.14 × 0.10	0.01
D4 (T)	0.14 × 0.10	0.01
D5 (T)	0.14 × 0.10	0.01
D6 (T)	0.14 × 0.10	0.01
合計		0.11

＜鎌田橋＞			
図面番号	5 / 20	縮 尺	S=1:30
工 種	橋梁補修工事		
種 別	鎌田橋 上部工補修図 (1径間)	番 号	/
路線 河川 名	助兼山根線		
工事箇所	東広島市河内町戸野		
東 広 島 市			

鎌田橋 上部工補修図 S=1:30
(2径間)

補修工法凡例		
記 号	損 傷 種 類	補修対策工法
	ひびわれ (W=0.2mm~1.0mm未満) (C)	ひびわれ注入工
	ひびわれ (W=1.0mm以上) (C)	ひびわれ充填工
	う き (U)	断面修復工
	剥 離 (H)	断面修復工
	剥離・鉄筋露出 (T)	断面修復工
	欠 損 (K)	断面修復工
	摩 耗・浸 食 (S)	断面修復工
	豆 板 (M)	断面修復工
	コンクリート表面劣化部	表面保護工



断面修復工 (B-3) 数量表 (上部工) 深さ0.03m

測点	面積 (m ²)
D15 (M)	0.74

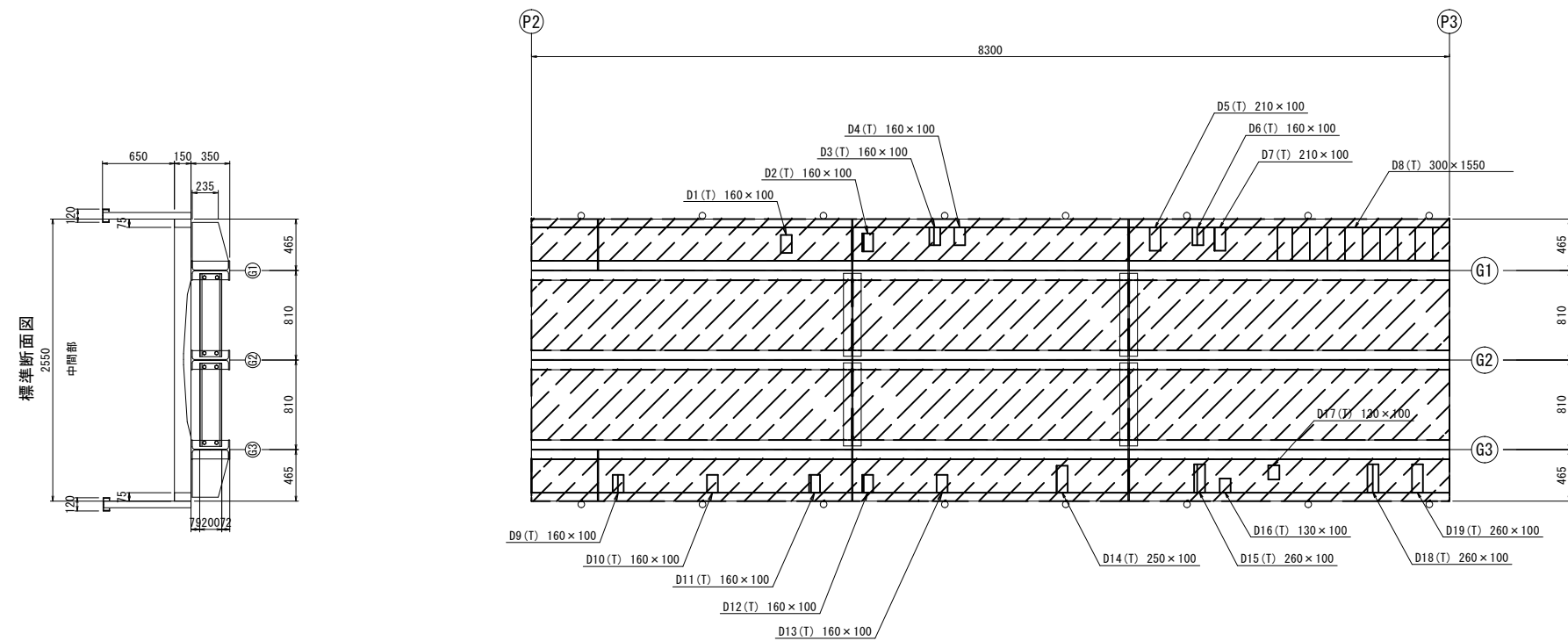
断面修復工 (A-4) 数量表 (上部工) 深さ 0.06m

測点	寸法	面積 (m ²)
D1 (T)	0.14 × 0.10	0.01
D2 (T)	0.14 × 0.10	0.01
D3 (T)	0.20 × 0.10	0.02
D4 (T)	0.16 × 0.10	0.02
D5 (T)	0.16 × 0.10	0.02
D6 (T)	0.16 × 0.10	0.02
D7 (T)	0.16 × 0.10	0.02
D8 (T)	0.30 × 0.80	0.24
D9 (T)	0.14 × 0.10	0.01
D10 (T)	0.30 × 0.10	0.03
D11 (T)	0.30 × 0.10	0.03
D12 (T)	0.20 × 0.10	0.02
D13 (T)	0.20 × 0.10	0.02
D14 (T)	0.20 × 0.10	0.02
合計		0.49

＜鎌田橋＞			
図面番号	6 / 20	縮 尺	S=1:30
工 種	橋梁補修工事		
種 別	鎌田橋 上部工補修図 (2径間)	番号	/
路線 河川	助兼山根線		
工事箇所	東広島市河内町戸野		
東 広 島 市			

鎌田橋 上部工補修図 S=1:30
(3径間)

記 号	損 傷 種 類	補修対策工法
	ひびわれ (W=0.2mm ~ 1.0mm未満) (C)	ひびわれ注入工
	ひびわれ (W=1.0mm以上) (C)	ひびわれ充填工
	う き (U)	断面修復工
	剥 離 (H)	断面修復工
	剥離・鉄筋露出 (T)	断面修復工
	欠 損 (K)	断面修復工
	摩 耗・浸 食 (S)	断面修復工
	豆 板 (M)	断面修復工
	コンクリート表面劣化部	表面保護工



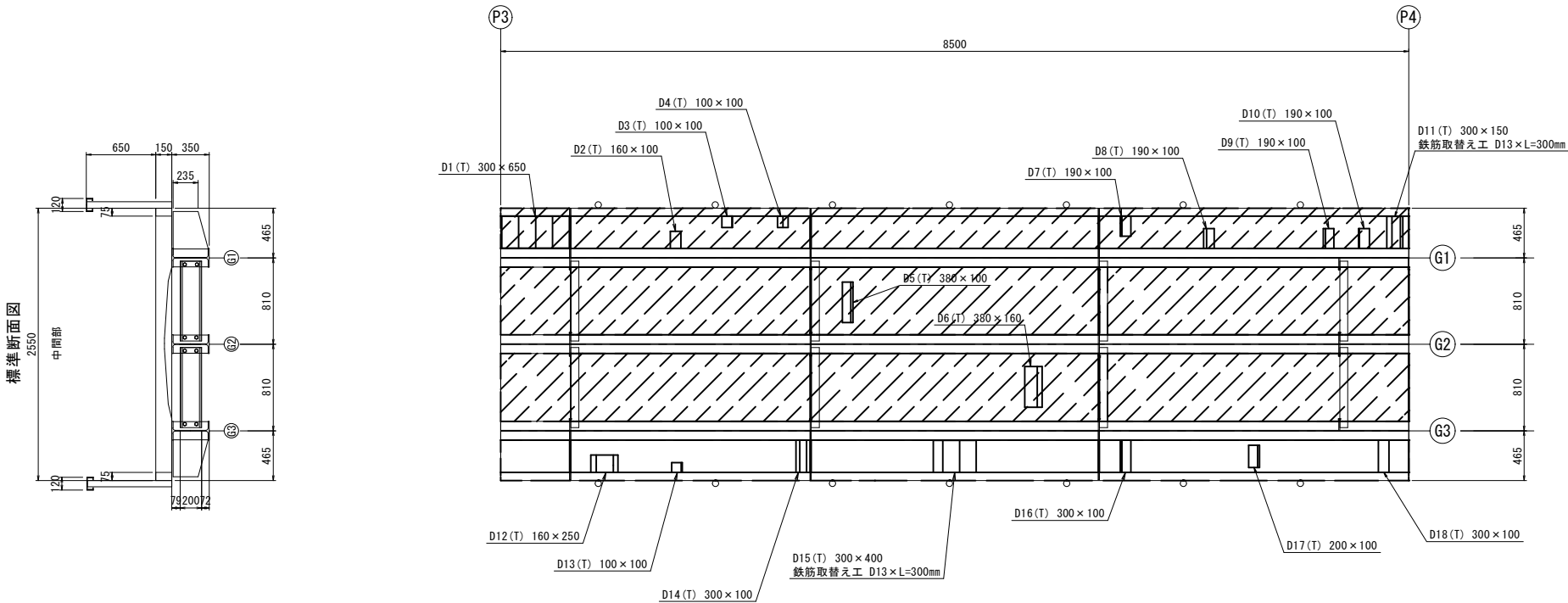
断面修復工(A-4)数量表(上部工) 深さ 0.06m

測点	寸法		面積(m ²)
D1(T)	0.16	× 0.10	0.02
D2(T)	0.16	× 0.10	0.02
D3(T)	0.16	× 0.10	0.02
D4(T)	0.16	× 0.10	0.02
D5(T)	0.21	× 0.10	0.02
D6(T)	0.16	× 0.10	0.02
D7(T)	0.21	× 0.10	0.02
D8(T)	0.30	× 1.55	0.47
D9(T)	0.16	× 0.10	0.02
D10(T)	0.16	× 0.10	0.02
D11(T)	0.16	× 0.10	0.02
D12(T)	0.16	× 0.10	0.02
D13(T)	0.16	× 0.10	0.02
D14(T)	0.25	× 0.10	0.03
D15(T)	0.26	× 0.10	0.03
D16(T)	0.13	× 0.10	0.01
D17(T)	0.13	× 0.10	0.01
D18(T)	0.26	× 0.10	0.03
D19(T)	0.26	× 0.10	0.03
	合計		0.89

<鎌田橋>					
図面番号	7 / 20	縮 尺	S=1:30		
工 種	橋梁補修工事				
種 別	鎌田橋 上部工補修図 (3区間)			番号	/
路線 河川 名	助兼山根線				
工事箇所	東広島市河内町戸野				
東 広 島 市					

鎌田橋 上部工補修図 S=1:30
(4径間)

補修工法凡例		
記 号	損 傷 種 類	補修対策工法
	ひびわれ (W=0.2mm~1.0mm未満) (C)	ひびわれ注入工
	ひびわれ (W=1.0mm以上) (C)	ひびわれ充填工
	う き (U)	断面修復工
	剥 離 (H)	断面修復工
	剥離・鉄筋露出 (T)	断面修復工
	欠 損 (K)	断面修復工
	摩 耗・浸 食 (S)	断面修復工
	豆 板 (M)	断面修復工
	コンクリート表面劣化部	表面保護工



鉄筋取替え工

測点	寸法
D11(T)	D13×L=300mm
D15(T)	D13×L=300mm

断面修復工(A-4)数量表(上部工)深さ 0.06m

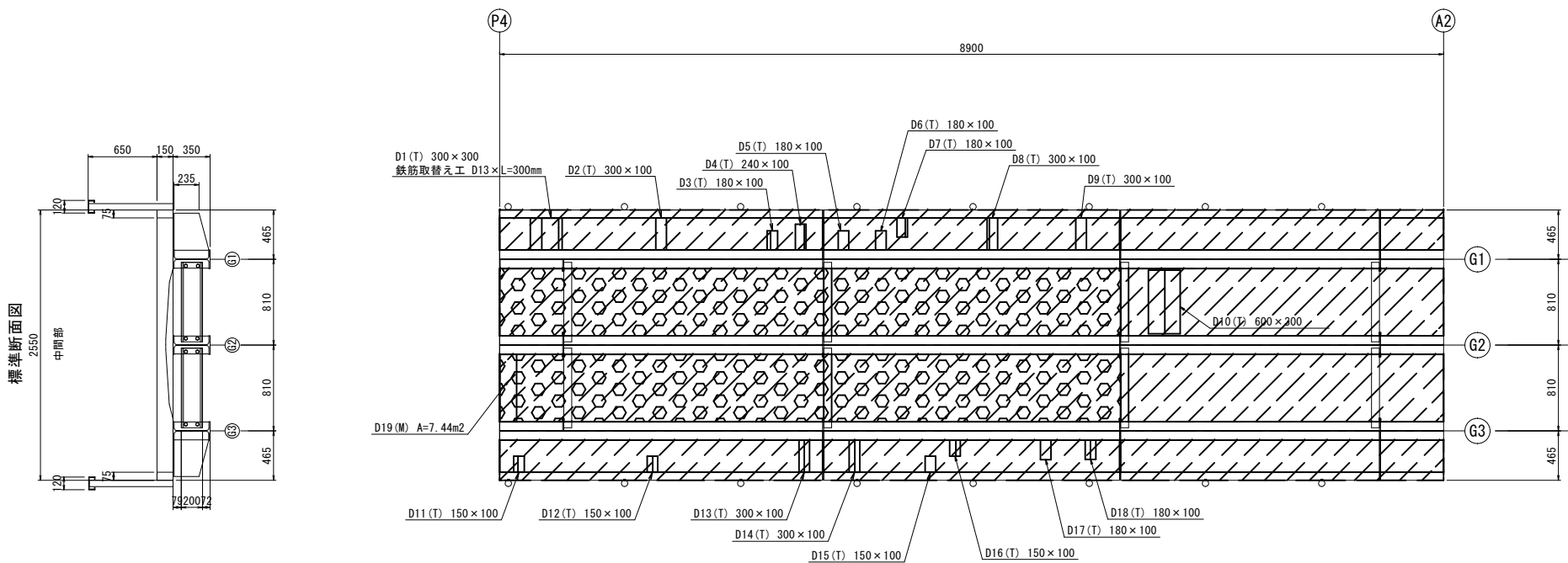
測点	寸法	面積 (m2)
D1 (T)	0.30 × 0.65	0.20
D2 (T)	0.16 × 0.10	0.02
D3 (T)	0.10 × 0.10	0.01
D4 (T)	0.10 × 0.10	0.01
D5 (T)	0.38 × 0.10	0.04
D6 (T)	0.38 × 0.16	0.06
D7 (T)	0.19 × 0.10	0.02
D8 (T)	0.19 × 0.10	0.02
D9 (T)	0.19 × 0.10	0.02
D10 (T)	0.19 × 0.10	0.02
D11 (T)	0.30 × 0.15	0.05
D12 (T)	0.16 × 0.25	0.04
D13 (T)	0.10 × 0.10	0.01
D14 (T)	0.30 × 0.10	0.03
D15 (T)	0.30 × 0.40	0.12
D16 (T)	0.30 × 0.10	0.03
D17 (T)	0.20 × 0.10	0.02
D18 (T)	0.30 × 0.10	0.03
合計		0.75

<鎌田橋>

図面番号	8 / 20	縮 尺	S=1:30
工 種	橋梁補修工事		
種 別	鎌田橋 上部工補修図 (4径間)	番 号	/
路線 河川 名	助兼山根線		
工事箇所	東広島市河内町戸野		
東 広 島 市			

鎌田橋 上部工補修図 S=1:30
(5径間)

補修工法凡例		
記 号	損 傷 種 類	補修対策工法
	ひびわれ (W=0.2mm~1.0mm未満) (C)	ひびわれ注入工
	ひびわれ (W=1.0mm以上) (C)	ひびわれ充填工
	う き (U)	断面修復工
	剥 離 (H)	断面修復工
	剥離・鉄筋露出 (T)	断面修復工
	欠 損 (K)	断面修復工
	摩 耗・浸 食 (S)	断面修復工
	豆 板 (M)	断面修復工
	コンクリート表面劣化部	表面保護工



断面修復工 (B-3) 数量表 (上部工)

測点	面積 (m ²)
D19 (M)	7.44

鉄筋取替え工

測点	材料
D1 (T)	D13×L=300mm

断面修復工 (A-4) 数量表 (上部工) 深さ 0.06m

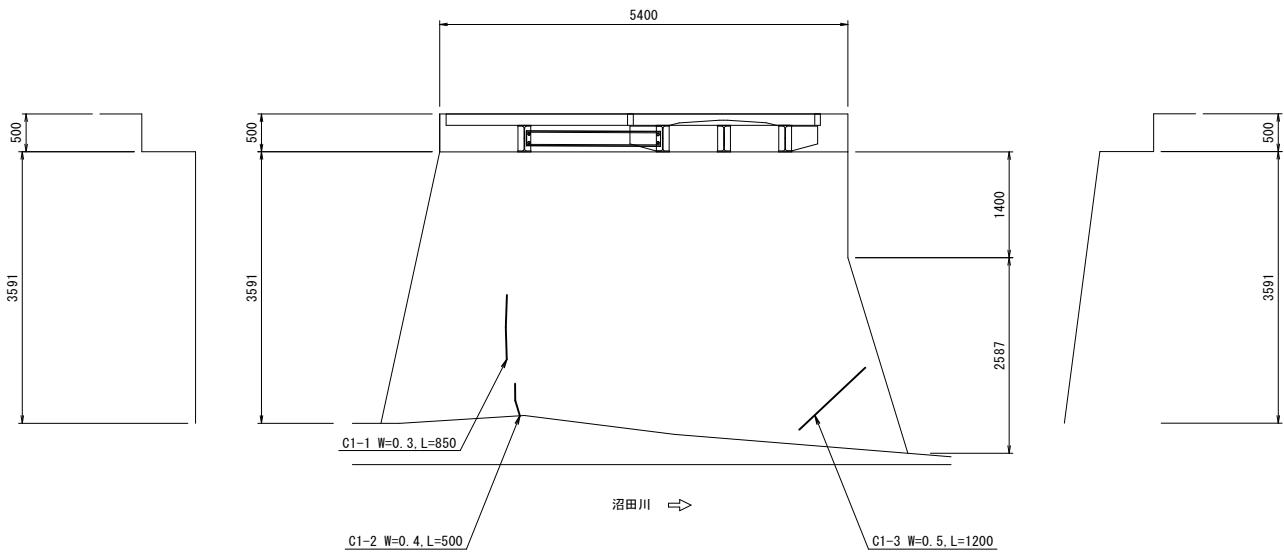
測点	寸法	面積 (m ²)
D1 (T)	0.30 × 0.30	0.09
D2 (T)	0.30 × 0.10	0.03
D3 (T)	0.18 × 0.10	0.02
D4 (T)	0.24 × 0.10	0.02
D5 (T)	0.18 × 0.10	0.02
D6 (T)	0.18 × 0.10	0.02
D7 (T)	0.18 × 0.10	0.02
D8 (T)	0.30 × 0.10	0.03
D9 (T)	0.30 × 0.10	0.03
D10 (T)	0.60 × 0.30	0.18
D11 (T)	0.15 × 0.10	0.02
D12 (T)	0.15 × 0.10	0.02
D13 (T)	0.30 × 0.10	0.03
D14 (T)	0.30 × 0.10	0.03
D15 (T)	0.15 × 0.10	0.02
D16 (T)	0.15 × 0.10	0.02
D17 (T)	0.18 × 0.10	0.02
D18 (T)	0.18 × 0.10	0.02
合計		0.64

＜鎌田橋＞

図面番号	9 / 20	縮 尺	S=1:30
工 種	橋梁補修工事		
種 別	鎌田橋 上部工補修図 (5径間)	番 号	/
路線 河川	助兼山根線		
工事箇所	東広島市河内町戸野		
東 広 島 市			

鎌田橋 下部工補修図(1)
A1・A2橋台

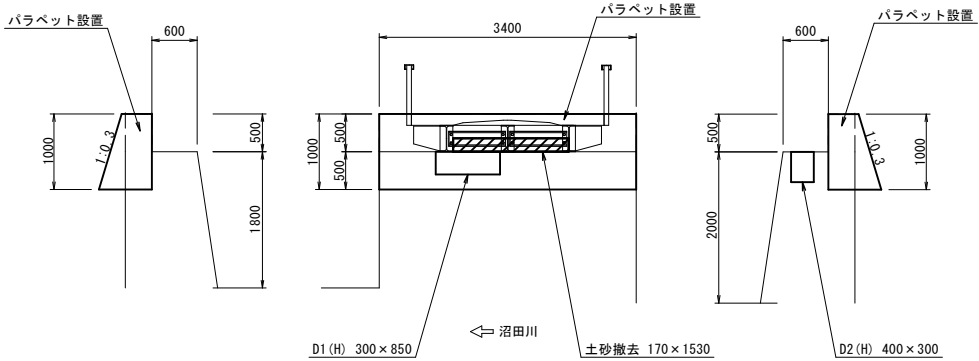
A1橋台構造図 S=1:50
正面図



ひび割れ注入工数量表
(ひび割れ幅0.2~1.0mm未満)
A1橋台

測点	寸法(m)	
	L	W
C1-1	0.85	0.3
C1-2	0.50	0.4
C1-3	1.20	0.5
合計	2.55	

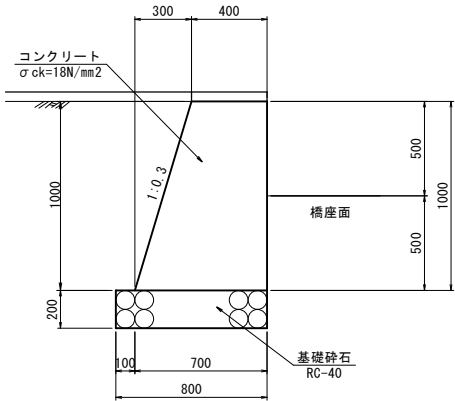
A2橋台構造図 S=1:50
正面図



断面修復工(B-1)数量表(下部工)深さ0.03m
A2橋台

測点	寸法	面積(m2)
D1 (K)	0.30 × 0.85	0.26
D2 (H)	0.40 × 0.30	0.12
合計		0.38

パラペット構造図 S=1:20



補修工法凡例

記号	損傷種類	補修対策工法
	ひびわれ (W=0.2mm~1.0mm未満) (C)	ひびわれ注入工
	ひびわれ (W=1.0mm以上) (C)	ひびわれ充填工
	うき (U)	断面修復工
	剥離 (H)	断面修復工
	剥離・鉄筋露出 (T)	断面修復工
	欠損 (K)	断面修復工
	摩耗・浸食 (S)	断面修復工
	豆板 (M)	断面修復工
	コンクリート表面劣化部	表面保護工

補修工法凡例

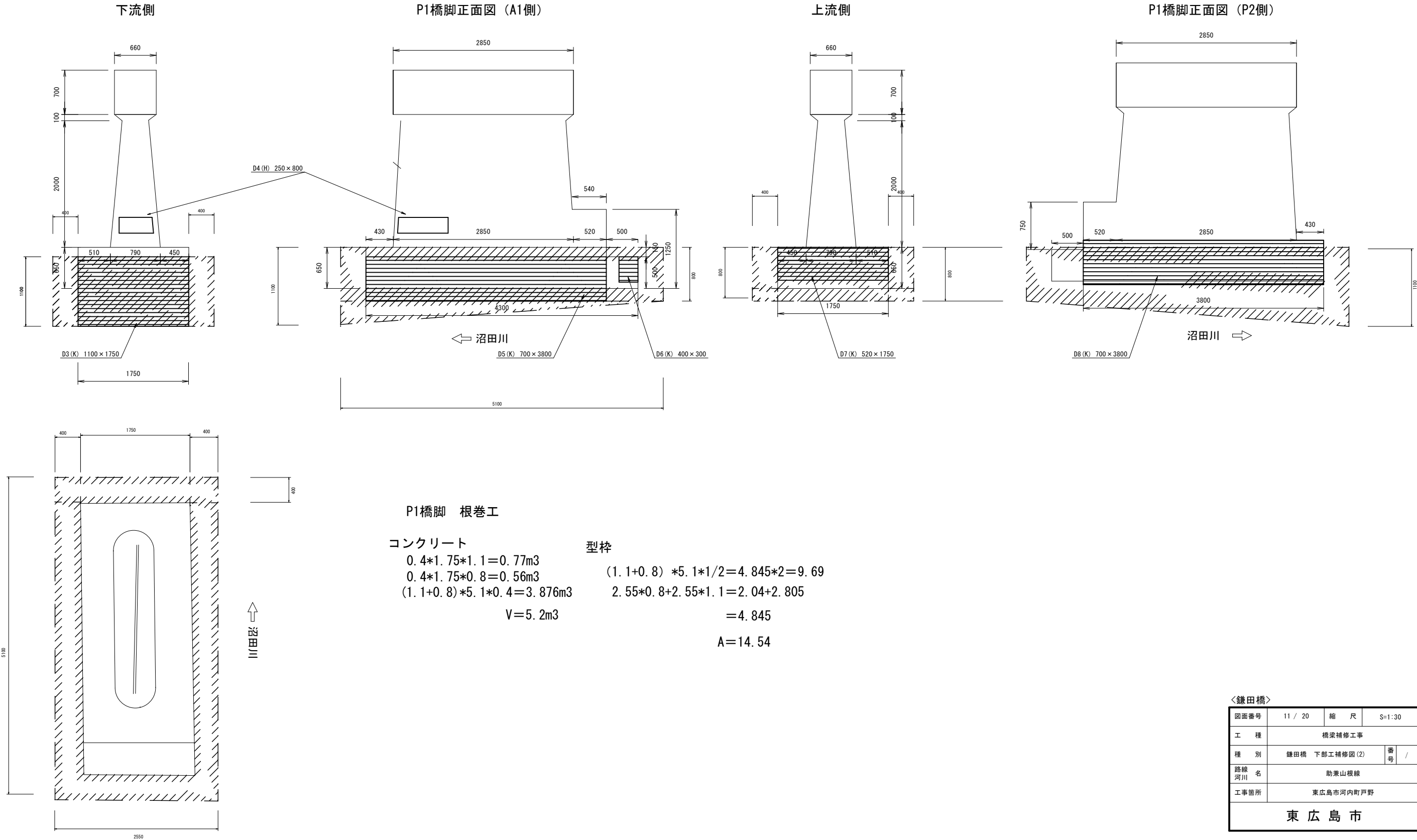
記号	損傷種類	補修対策工法
	土砂堆積	土砂撤去

＜鎌田橋＞

図面番号	10 / 20	縮 尺	図 示	
工 種	橋梁補修工事			
種 別	鎌田橋 下部工補修図(1)		番号	/
路線 河川 名	助荒山根線			
工事箇所	東広島市河内町戸野			
東 広 島 市				

鎌田橋 下部工補修図(2) S=1:30
P1橋脚

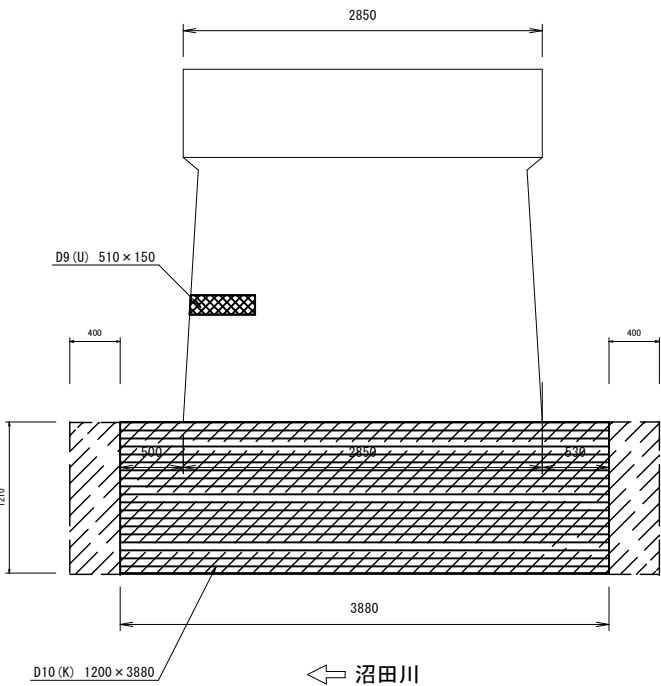
補修工法凡例		
記号	損傷種類	補修対策工法
	ひびわれ (W=0.2mm~1.0mm未満) (C)	ひびわれ注入工
	ひびわれ (W=1.0mm以上) (C)	ひびわれ充填工
	うき (U)	断面修復工
	剥離 (H)	断面修復工
	剥離・鉄筋露出 (T)	断面修復工
	欠損 (K)	断面修復工
	摩耗・浸食 (S)	断面修復工
	豆板 (M)	断面修復工
	コンクリート表面劣化部	表面保護工



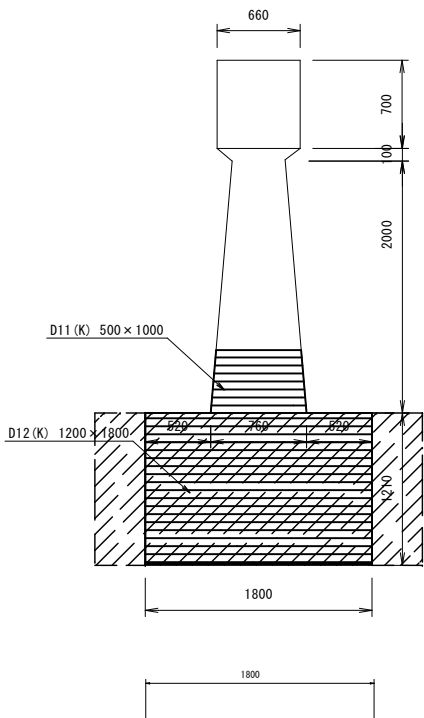
鎌田橋 下部工補修図(3) S=1:30
P2橋脚

補修工法凡例		
記号	損傷種類	補修対策工法
	ひびわれ (W=0.2mm~1.0mm未満) (C)	ひびわれ注入工
	ひびわれ (W=1.0mm以上) (C)	ひびわれ充填工
	うき (U)	断面修復工
	剥離 (H)	断面修復工
	剥離・鉄筋露出 (T)	断面修復工
	欠損 (K)	断面修復工
	摩耗・浸食 (S)	断面修復工
	豆板 (M)	断面修復工
	コンクリート表面劣化部	表面保護工

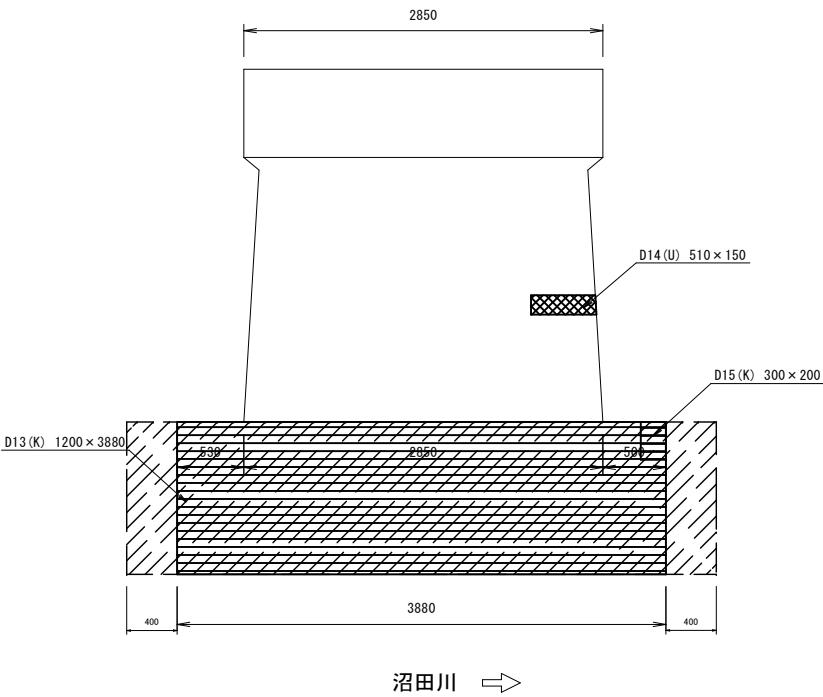
P2橋脚正面図 (P1側)



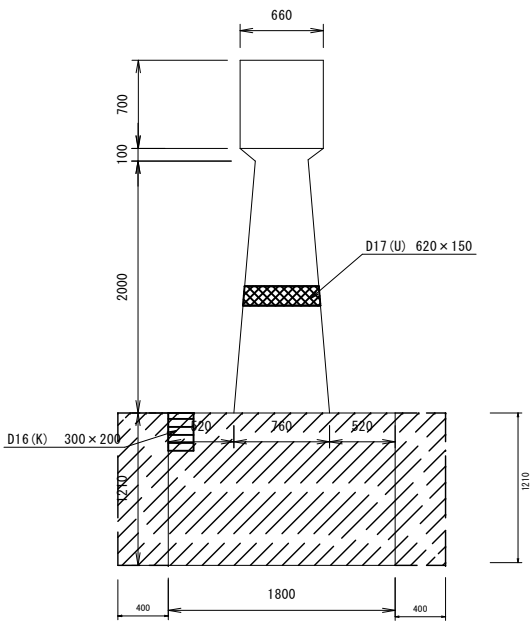
上流側



P2橋脚正面図 (P3側)



下流側



断面修復工(B-1)数量表(下部工)深さ 0.03m

測点	寸法	面積(m2)
D9(K)	0.51 x 0.15	0.08
D10(K)	1.20 x 3.88	4.66
D11(K)	0.50 x 1.00	0.5
D12(K)	1.20 x 1.80	2.16
D13(K)	1.20 x 3.88	4.66
D14(U)	0.51 x 0.15	0.08
D15(K)	0.30 x 0.20	0.06
D16(K)	0.30 x 0.20	0.06
D17(U)	0.62 x 0.15	0.09
合計		12.35

P2橋脚 根巻工

コンクリート
0.4*4.68*1.21*2=4.53m3
1.8*0.4*1.21*2=1.74m3
=6.3m3

型枠
1.21*4.68*2=11.33
2.6*1.21*2=6.29
=17.62

<鎌田橋>

図面番号	12 / 20	縮尺	S=1:30
工 種	橋梁補修工事		
種 別	鎌田橋 下部工補修図(3)	番号	/
路線 河川 名	助業山根線		
工事箇所	東広島市河内町戸野		
東 広 島 市			

鎌田橋 下部工補修図(4) S=1:30

P3橋脚

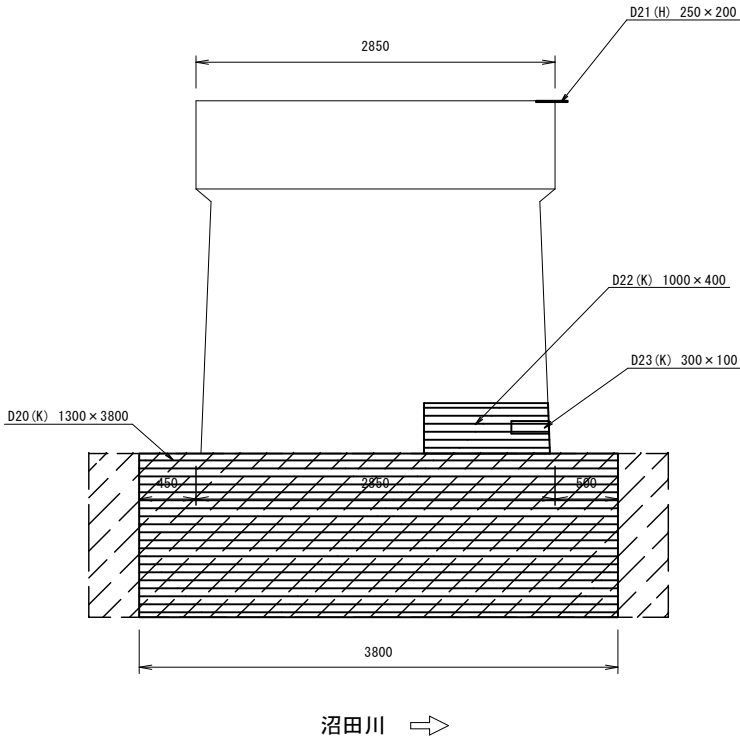
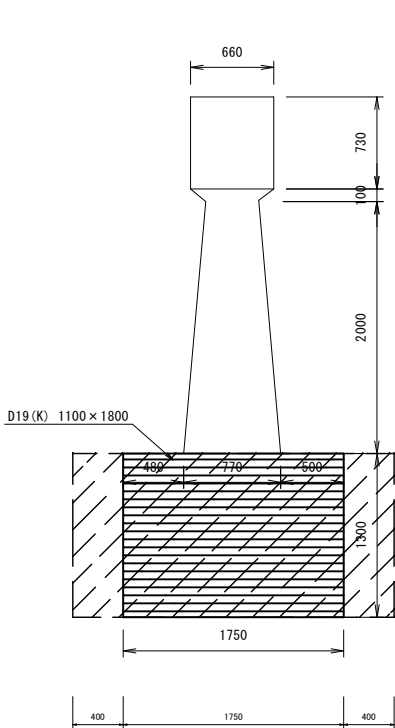
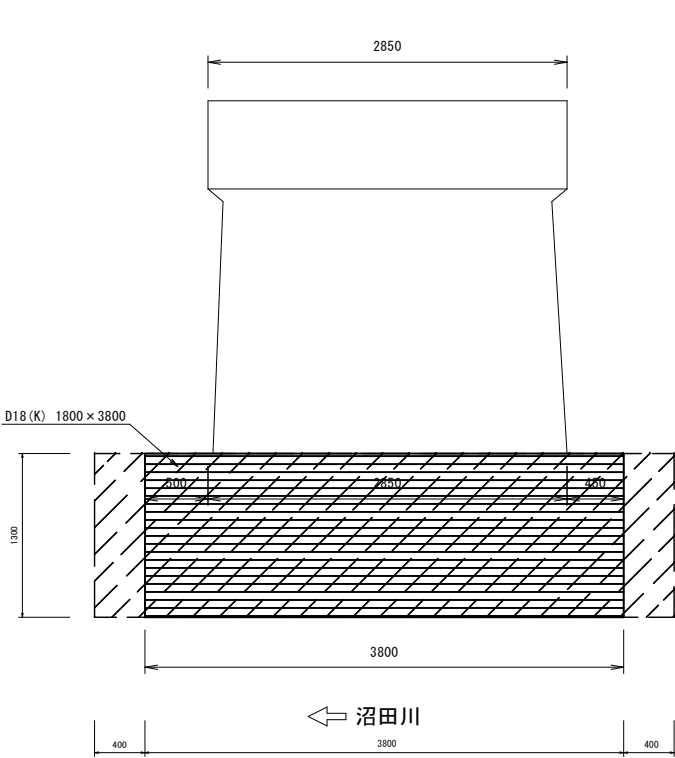
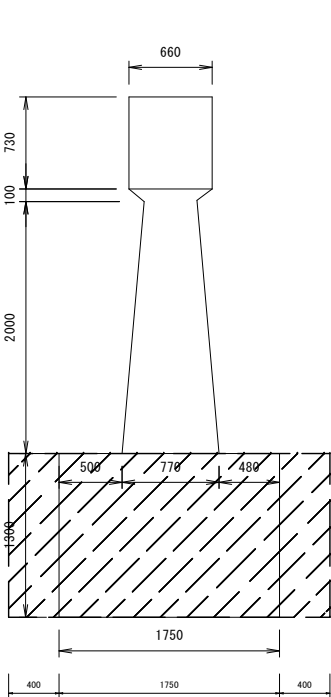
補修工法凡例		
記号	損傷種類	補修対策工法
	ひびわれ (W=0.2mm~1.0mm未満) (C)	ひびわれ注入工
	ひびわれ (W=1.0mm以上) (C)	ひびわれ充填工
	うき (U)	断面修復工
	剥離 (H)	断面修復工
	剥離・鉄筋露出 (T)	断面修復工
	欠損 (K)	断面修復工
	摩耗・浸食 (S)	断面修復工
	豆板 (M)	断面修復工
	コンクリート表面劣化部	表面保護工

下流側

P3橋脚正面図 (P2側)

上流側

P3橋脚正面図 (P4側)



根巻コンクリート

① 0.4*2.55*1.3=1.33
1.33*2=2.66
② 0.4*1.3*3.8=1.98
1.98*2=3.96
V=6.62m3

型枠工

(2.55*2+4.6*2)*1.3
A=18.59m2

断面修復工(B-1)数量表(下部工)深さ0.03m
P3橋脚

測点	寸法	面積(m2)
D18(K)	1.80 × 3.80	6.84
D19(K)	1.10 × 1.80	1.98
D20(K)	1.30 × 3.80	4.94
D21(H)	0.25 × 0.20	0.05
D22(K)	1.00 × 0.40	0.40
D23(K)	0.30 × 0.10	0.03
合計		14.24

＜鎌田橋＞

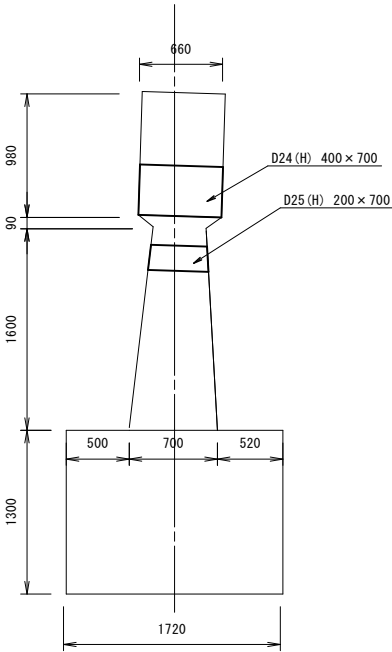
図面番号	13 / 20	縮尺	S=1:30	
工 種	橋梁補修工事			
種 別	鎌田橋 下部工補修図(4)	番号	/	
路線 河川 名	助兼山根線			
工事箇所	東広島市河内町戸野			
東 広 島 市				

鎌田橋 下部工補修図(5) S=1:30

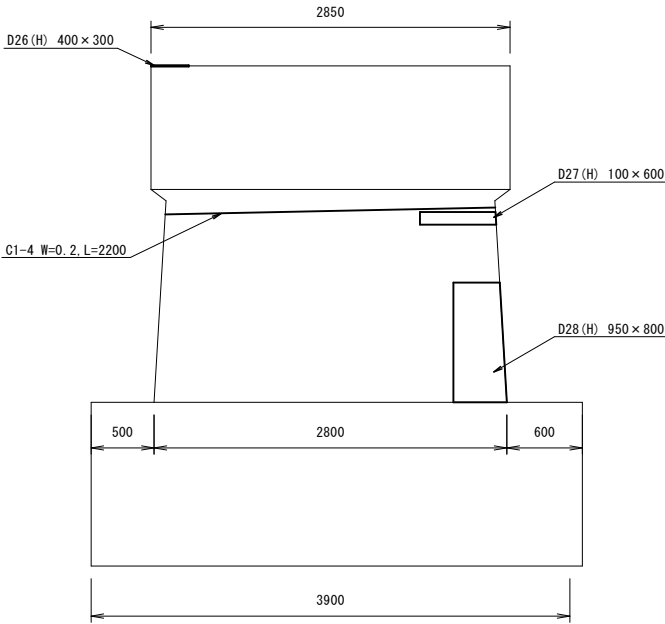
P4橋脚

補修工法凡例		
記 号	損 傷 種 類	補修対策工法
	ひびわれ (W=0.2mm~1.0mm未満) (C)	ひびわれ注入工
	ひびわれ (W=1.0mm以上) (C)	ひびわれ充填工
	う き (U)	断面修復工
	剥 離 (H)	断面修復工
	剥離・鉄筋露出 (T)	断面修復工
	欠 損 (K)	断面修復工
	摩 耗・浸 食 (S)	断面修復工
	豆 板 (M)	断面修復工
	コンクリート表面劣化部	表面保護工

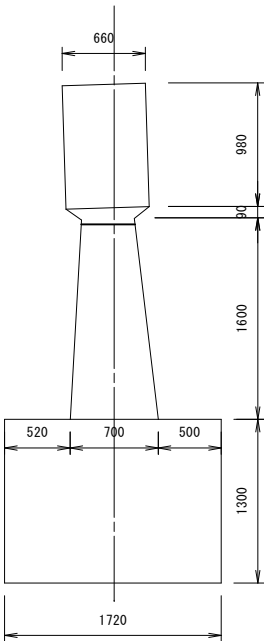
下流側



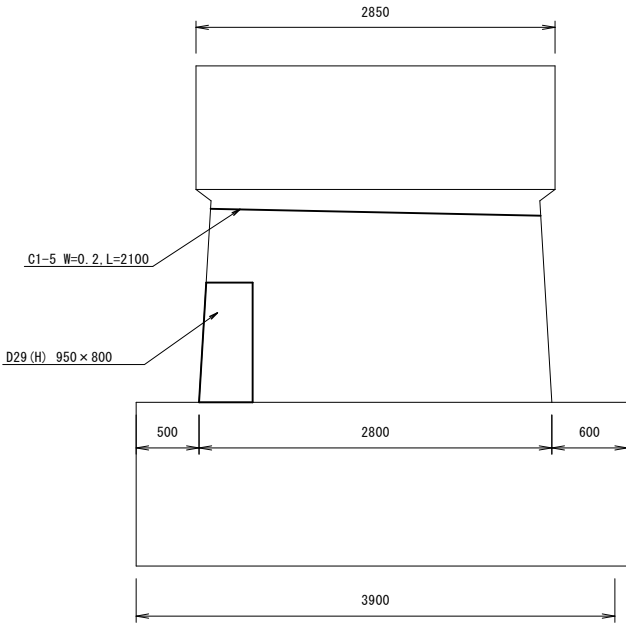
P4橋脚正面図 (P3側)



上流側



P4橋脚正面図 (A2側)



沼田川 ←

沼田川 →

ひび割れ注入工数量表
(ひび割れ幅0.2~1.0mm未満)

P4橋脚

C1-4	2.20
C1-5	2.10
合計	4.30

断面修復工(B-3)数量表 (下部工) 深さ 0.03m

P4橋脚

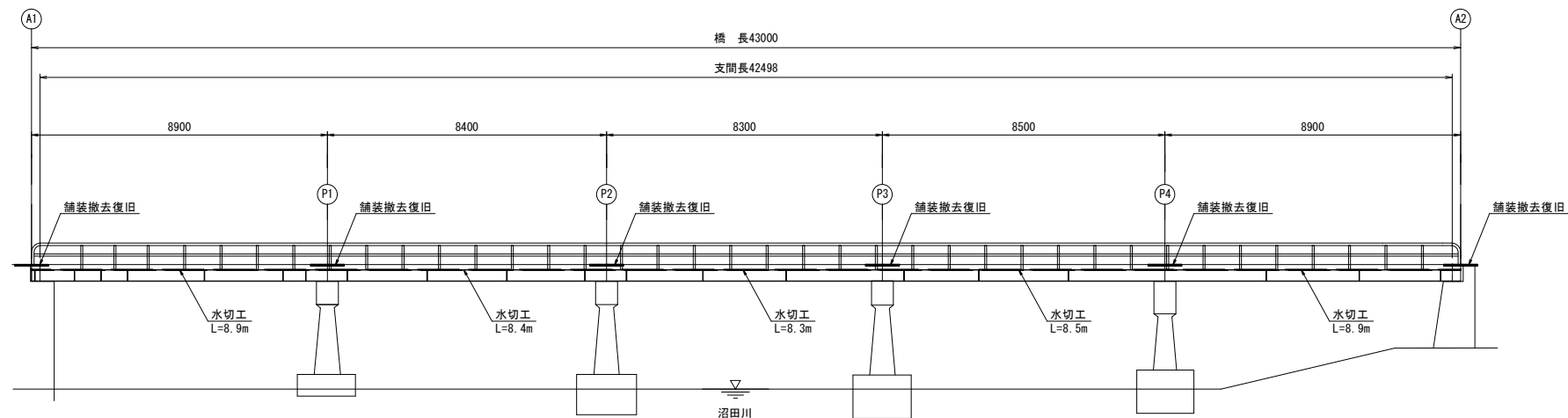
測点	寸法	面積(m2)
D24 (H)	0.40 × 0.70	0.28
D25 (H)	0.20 × 0.70	0.14
D26 (H)	0.40 × 0.30	0.12
D27 (H)	0.10 × 0.60	0.06
D28 (H)	0.95 × 0.80	0.76
D29 (H)	0.95 × 0.80	0.76
合計		2.12

<鎌田橋>

図面番号	14 / 20	縮 尺	S=1:30
工 種	橋梁補修工事		
種 別	鎌田橋 下部工補修図(5)	番 号	/
路線 河川 名	助兼山根線		
工事箇所	東広島市河内町戸野		
東 広 島 市			

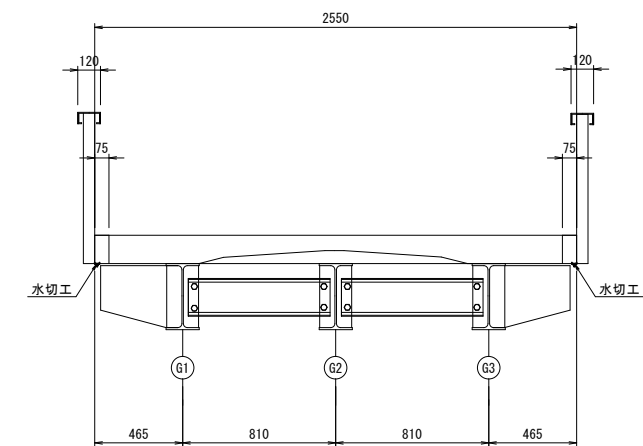
鎌田橋 路面補修図

側 面 図 S=1:100



標準断面図 S=1:20

中間部

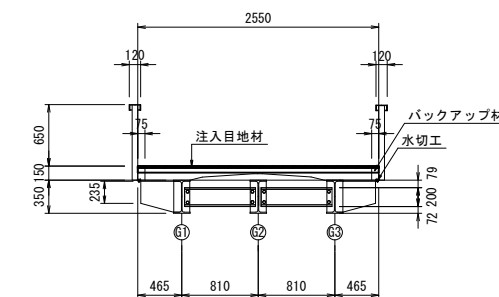
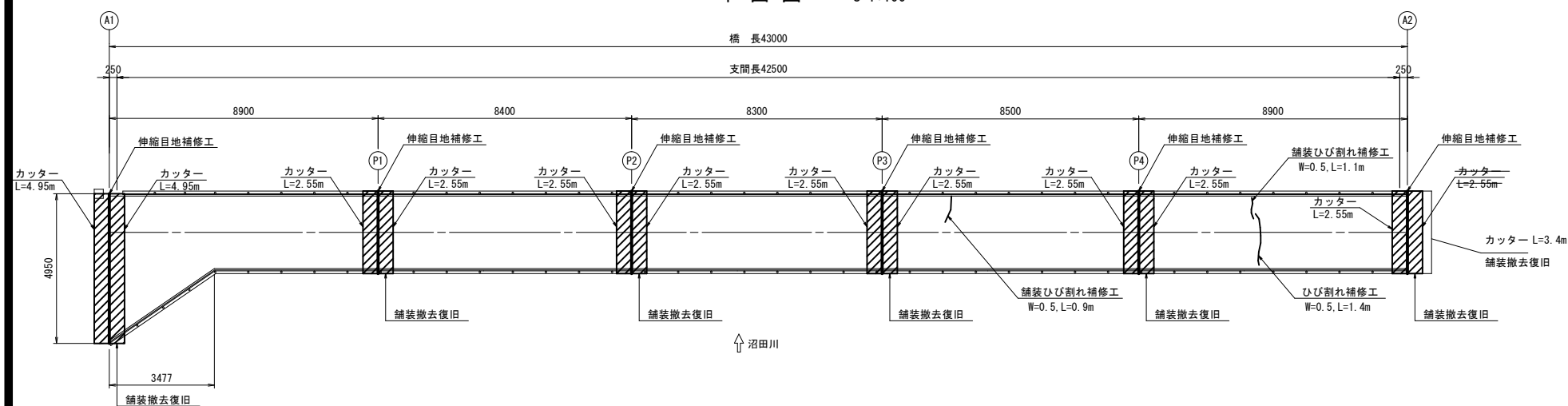


伸縮目地補修工

標準断面図 S=1:40

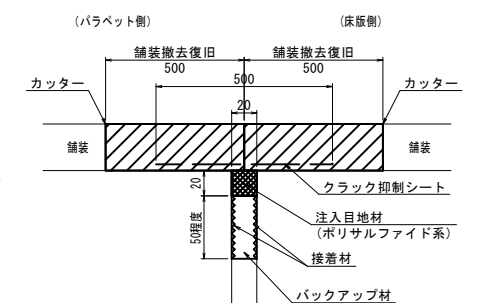
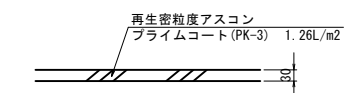
側面詳細図 NOSCALE

平面图 S=1:100

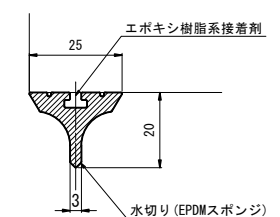


鋪裝撤去復旧

アスファルト舗装（打替え）



水切工詳細図 S=1:1

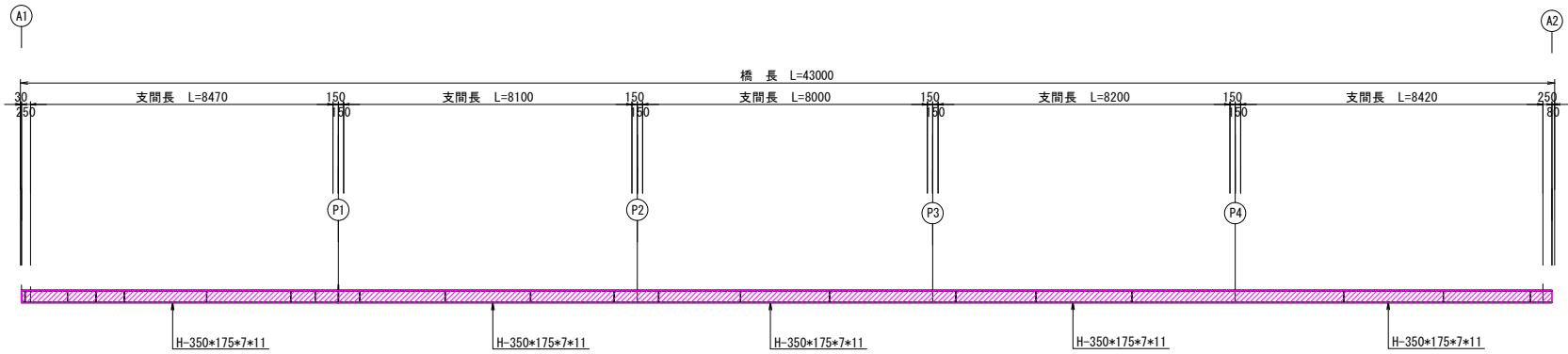


凡 例	
舗装撤去復旧	
水切工	
クラック抑制シート	
ひび割れ補修工	

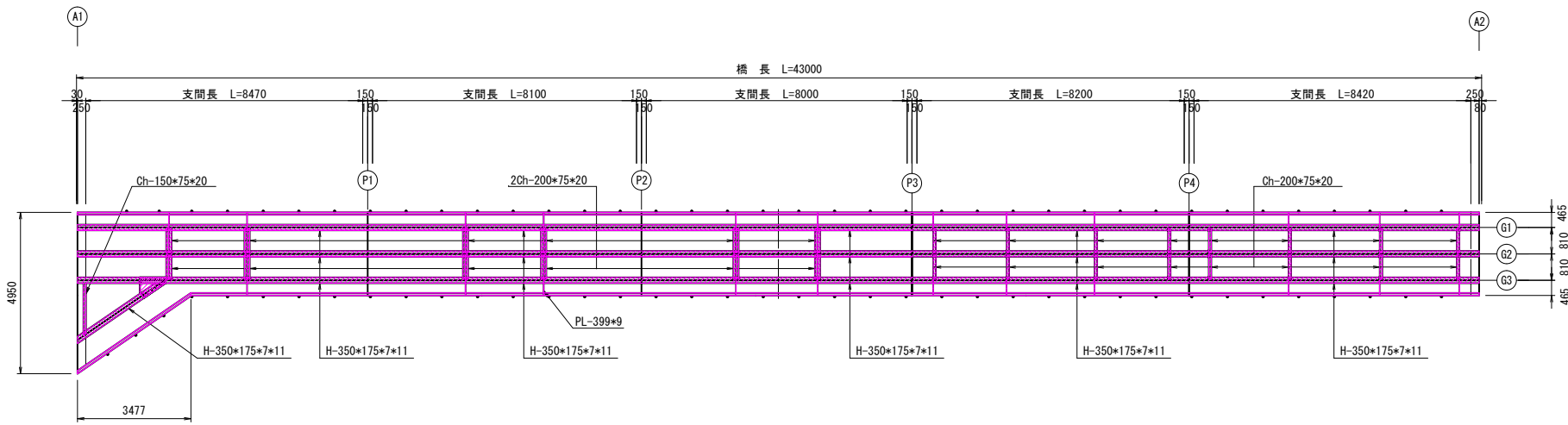
◀ 鎌田橋 ▶			
図面番号	15 / 20	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	鎌田橋 路面補修図	番 号	/
路線 河川	助兼山根線		
工事箇所	東広島市河内町戸野		
東 広 島 市			

鎌田橋 鋼材補修図

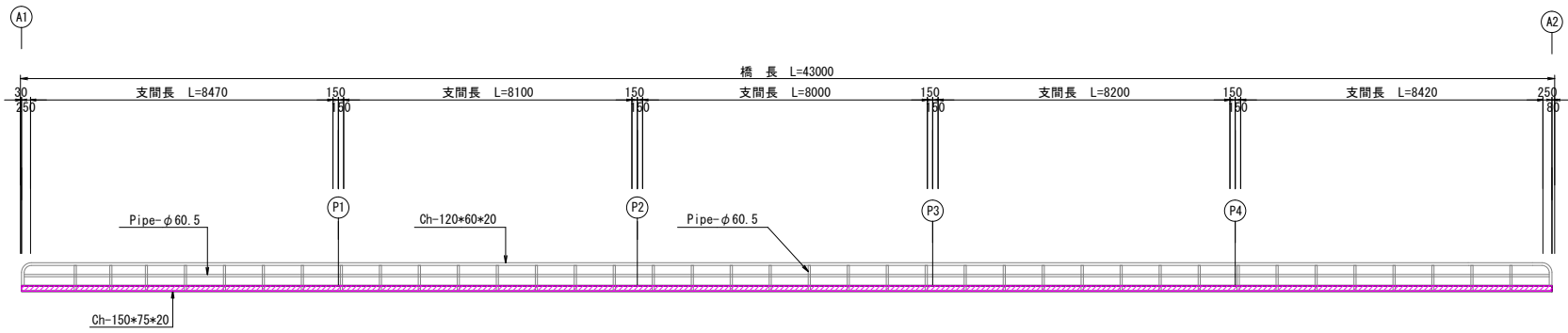
主桁側面図 S=1:100



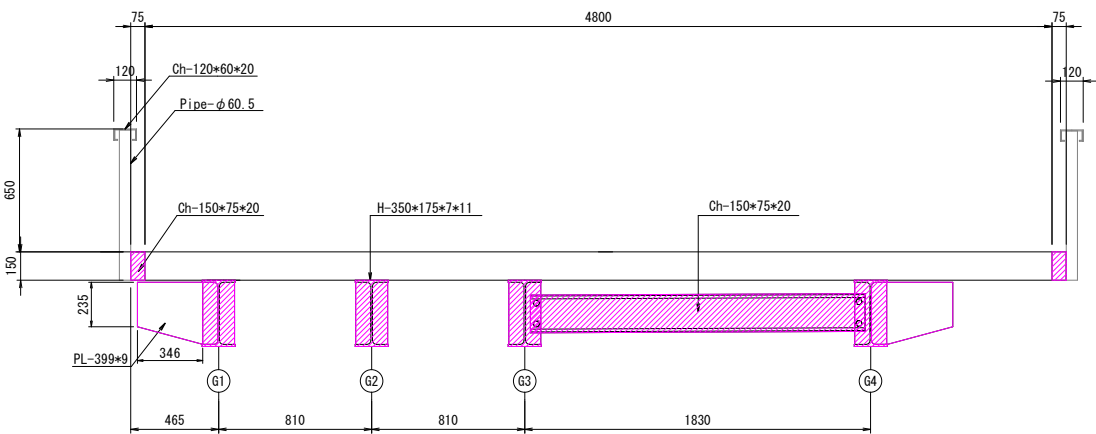
平面図 (桁下) S=1:100



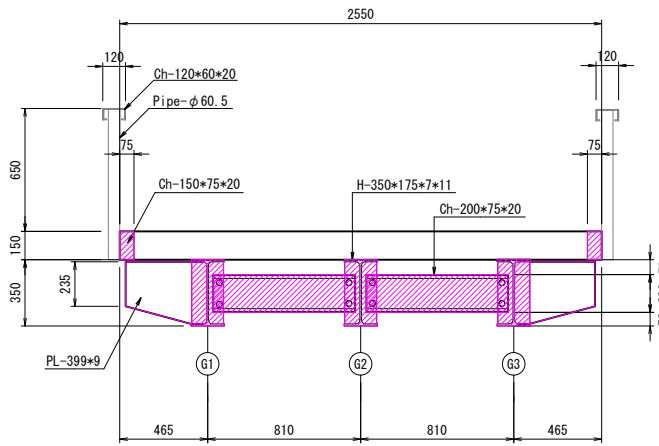
高欄側面図 S=1:100



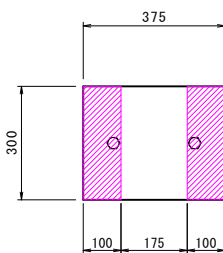
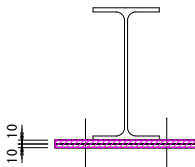
標準断面図 S=1:20



中間部



支承詳細図 S=1:10



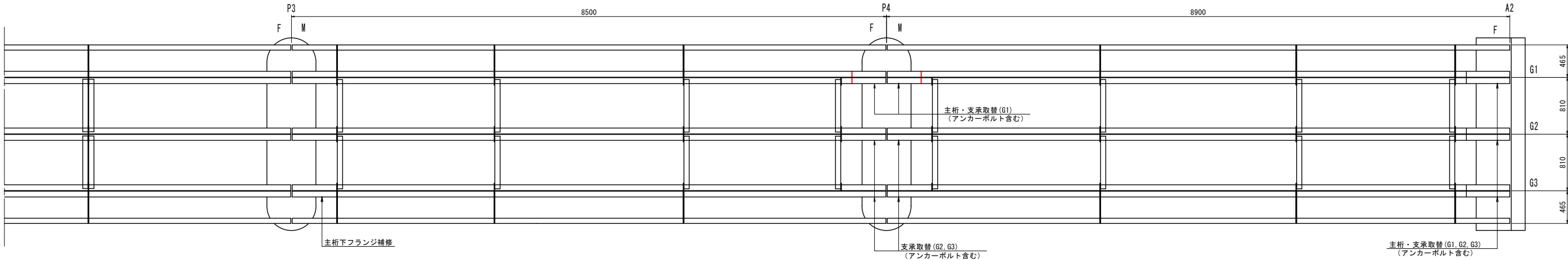
損傷	記号	補修対策工法
防食機能の劣化、腐食	■	塗装塗替え

注記) 上の図に塗装塗り替えを行う主要鋼材寸法を示す。
塗装面積は数量計算書を参照。
施工にあたっては現地計測の上、施工数量を決定する。
塗装仕様はRc-IIとする。

〈鎌田橋〉			
図面番号	16 / 20	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	鎌田橋 鋼材補修図	番号	/
路線 河川 名	助兼山根線		
工事箇所	東広島市河内町戸野		
東 広 島 市			

鎌田橋 支承受替および主桁当板・部分取替工詳細図

平面図 S=1:30

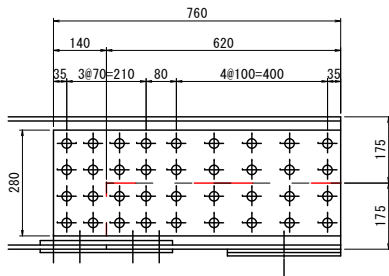
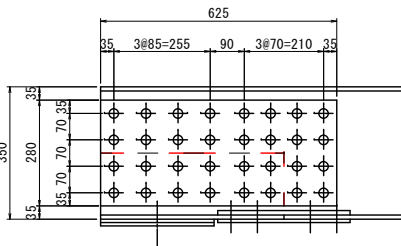
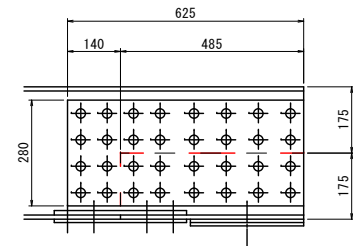


主桁継手詳細図 S=1:10

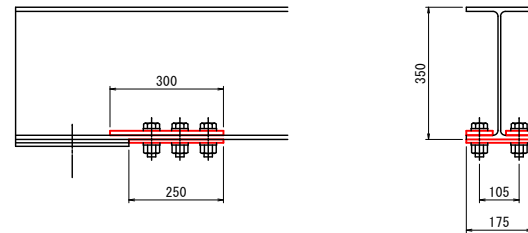
P4橋脚

A2橋台

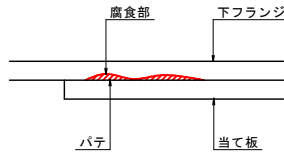
P3橋脚



ガス切断
P4
 $485+175+175=835$
 $=835 \times 2=1670$
A2
 $620+175+175=970$
 $=970 \times 3=2910$



腐食部の処理

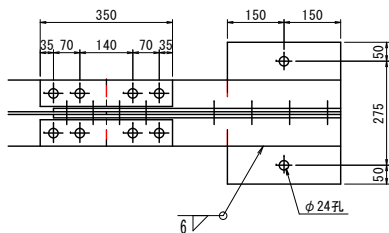
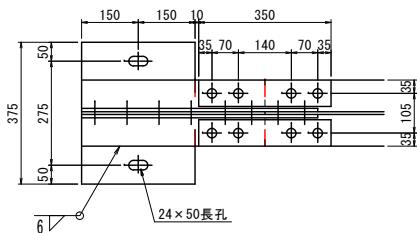
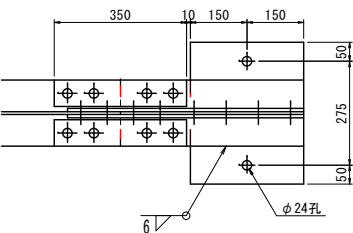


腐食部のケレン後に、金属用パテ等にて
当て板との隙間が出来ないように処理をする事。

ソールプレート (Fix)

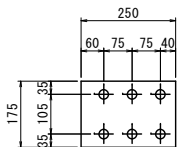
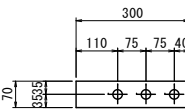
ソールプレート (Mov)

ソールプレート (Fix)



上側添接板

下側添接板

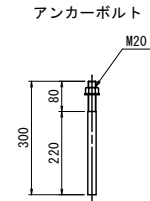


注 記

- 特記外材質は全てSS400とする。
- 製作前に現橋の寸法・形状を確認する事。
- 特記外ボルト孔は全てφ24.5とする。
- 支承プレート及びアンカーボルトは
溶融亜鉛メッキとする。(*印付)
付着量はJIS H8641 HDZ55とする。

＜鎌田橋＞

図面番号	17 / 20	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	鎌田橋 支承受替および主桁当板 ・ 部分取替工詳細図	番 号	/
路線 河川 名	助業山根線		
工事箇所	東広島市河内町戸野		
東 広 島 市			



N=9
* 2-アンカーボルト D22×300 (SD345)
* 2-M20 ナット・ワッシャ

N=2
1-H 350×175×7×11×485
2-PL 280×9×625
32-HTB M22×65 (F10T)
1-PL 175×9×350
2-PL 70×12×350
8-HTB M22×75 (F10T)

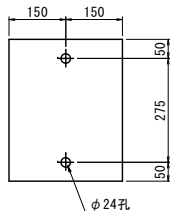
ソールプレート (Mov) N=1
1-PL 300×9×375 (SM400A)

ソールプレート (Fix) N=1
1-PL 300×9×375 (SM400A)

N=3
1-H 350×175×7×11×620
2-PL 280×9×760
36-HTB M22×65 (F10T)
1-PL 175×9×350
2-PL 70×12×350
8-HTB M22×75 (F10T)

ソールプレート (Fix) N=3
1-PL 300×9×375 (SM400A)

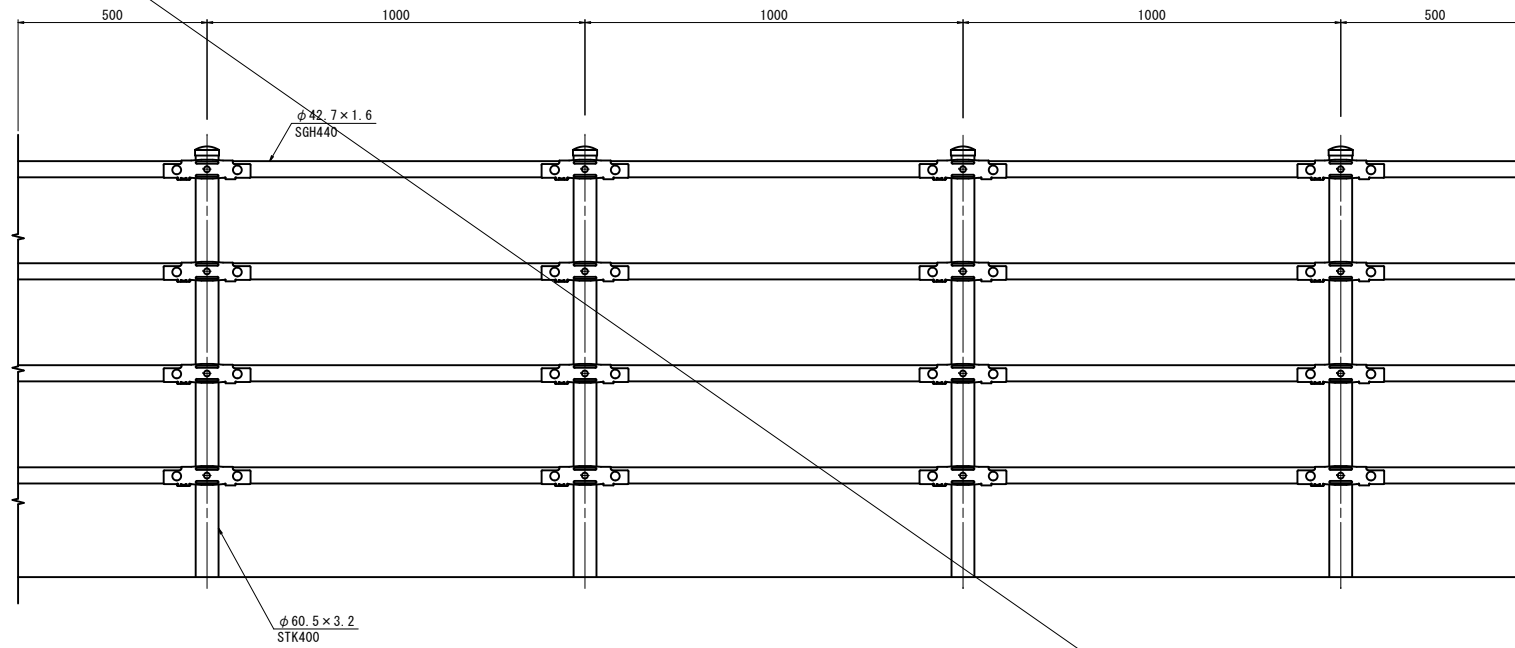
支承プレート N=9



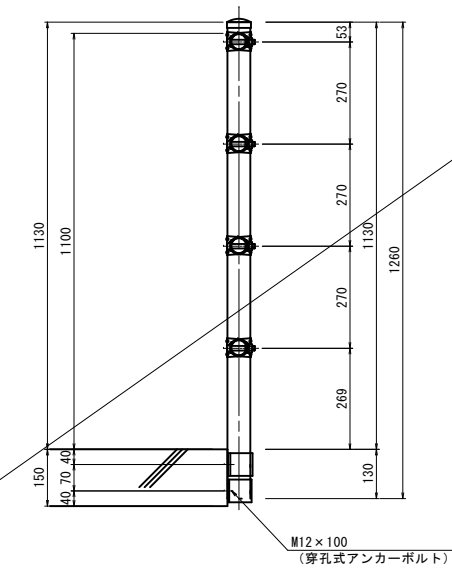
* 1-PL 300×9×375

鎌田橋 高欄取替工詳細図
セーフティフェンス側壁取付タイプ

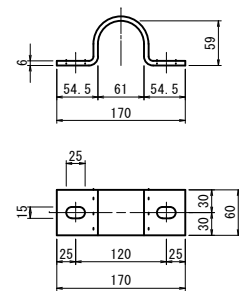
正 面 图 S=1:10



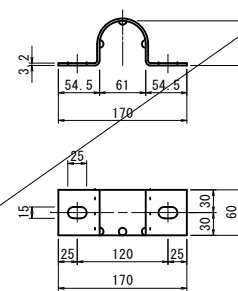
断面図 S=1:10



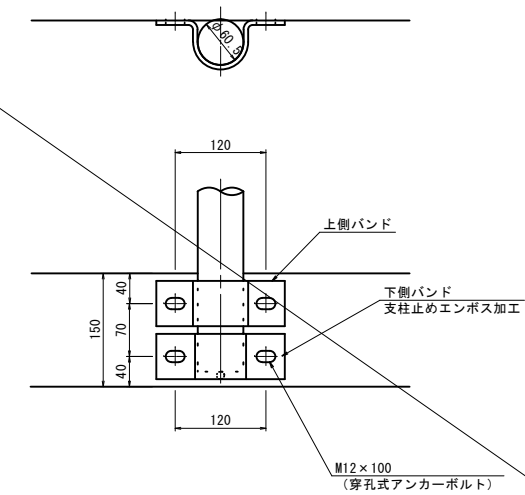
上段バンド S=1:5



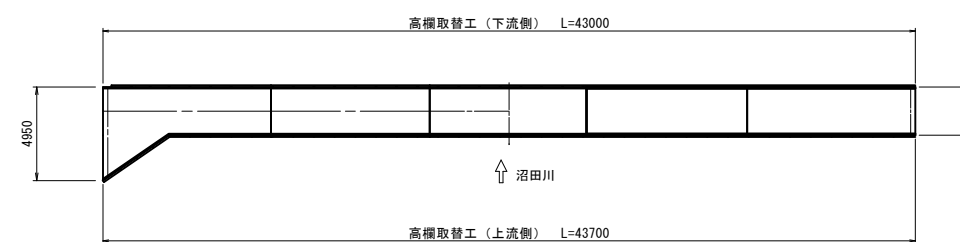
下段バンド S=1:5



支柱取付詳細図 S=1:5



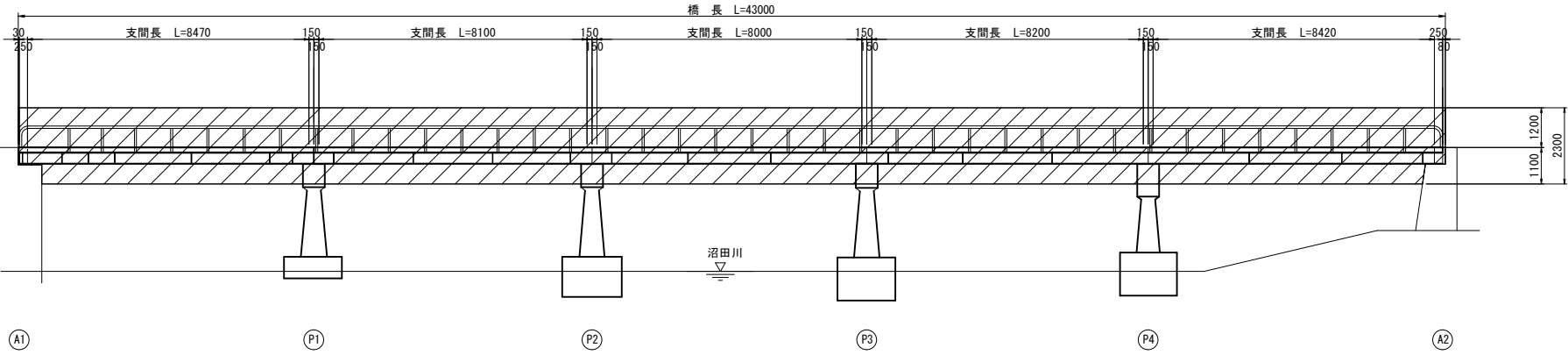
位置図 S=1:200



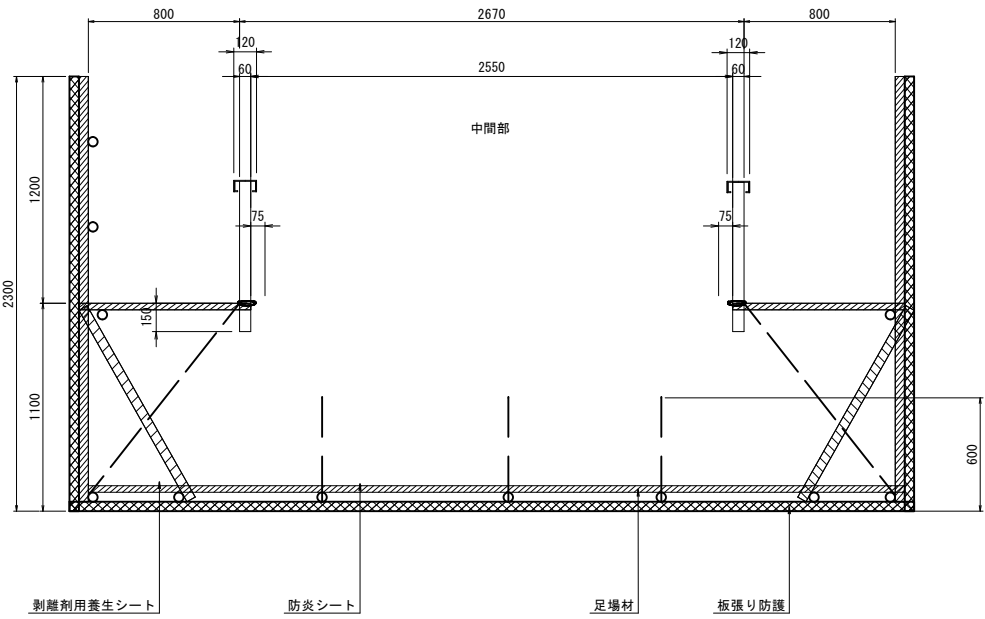
◀鎌田橋▶			
図面番号	18 / 20	縮 尺	図 示
工 種		橋梁補修工事	
種 別	鎌田橋、高堰取替工詳細図	番号	/
路線 河川	助荒山根線		
工事箇所	東広島市河内町戸野		
東 広 島 市			

鎌田橋 足場参考図

側面図 S=1:100

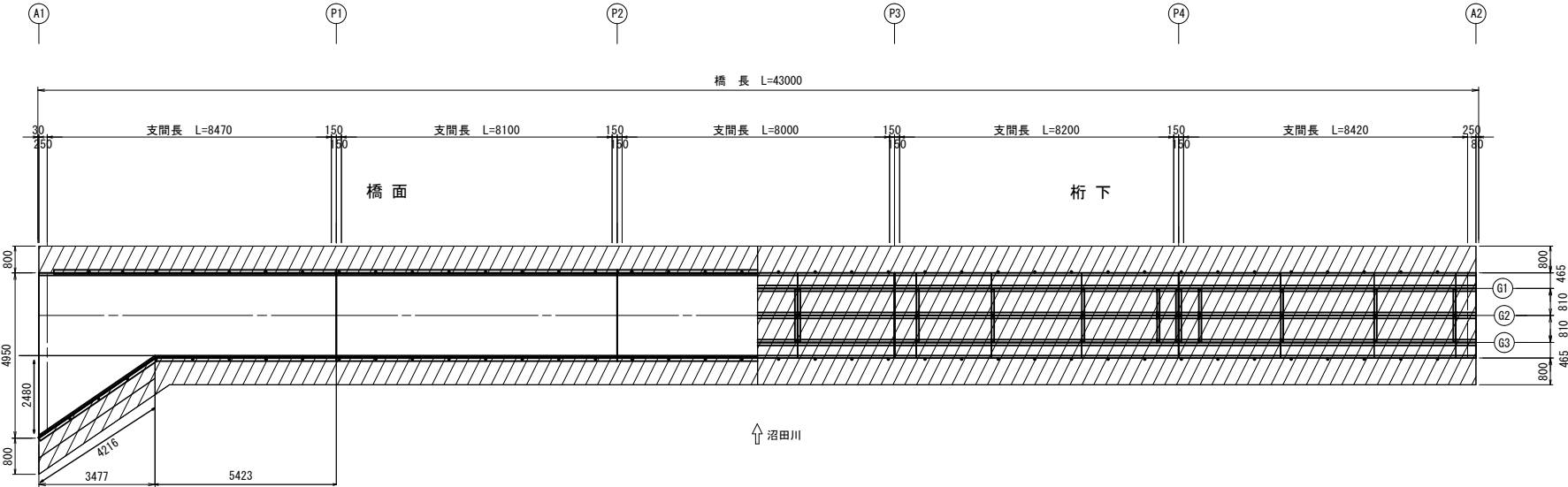


標準断面図 S=1:20



足場数量			
種 類	タイプ		(m2)
吊足場	TypeA1		118.77
朝 顔	TypeE		68.8

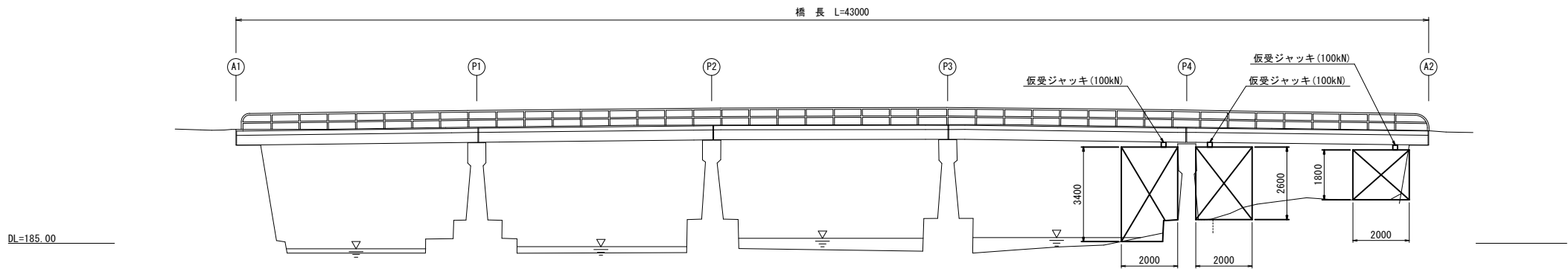
平面図 S=1:100



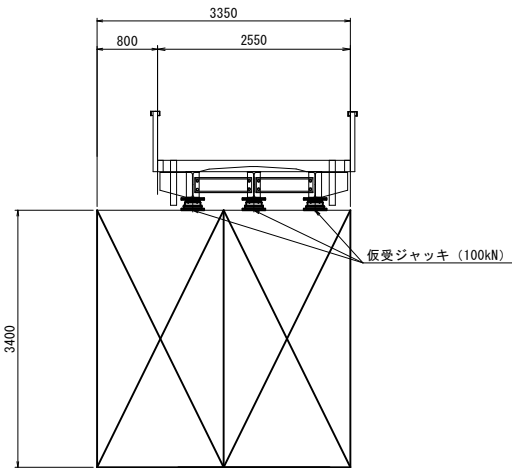
＜鎌田橋＞			
図面番号	19 / 20	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	鎌田橋 足場参考図	番 号	/
路線 名	助兼山根線		
工事箇所	東広島市河内町戸野		
東 広 島 市			

鎌田橋 仮受参考図
締め切り土のう参考図

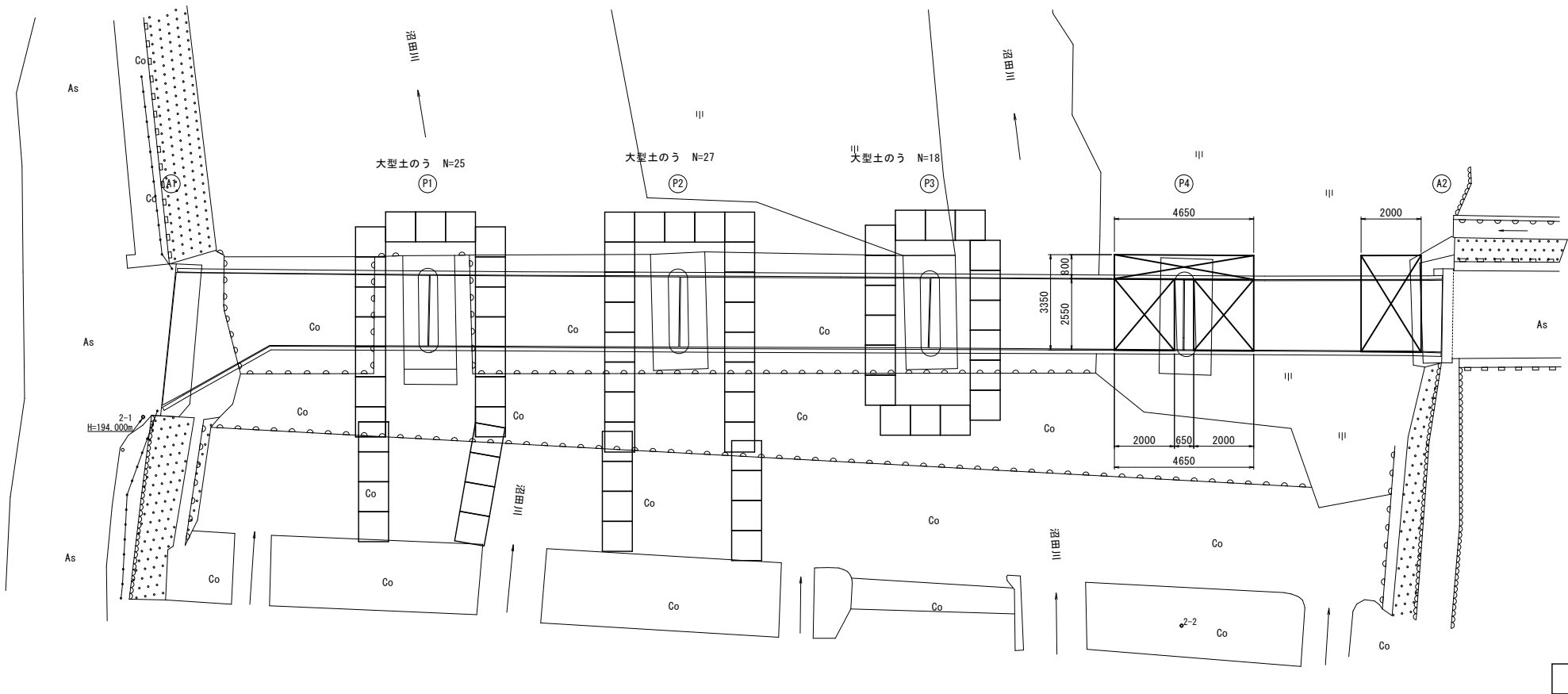
側面図 S=1:100



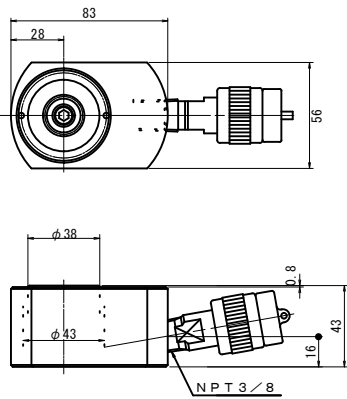
標準断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



仮受ジャッキ詳細図 (参考) S=1:2



能力 t	標高 mm	直径 mm	揚高 mm	自重 kg
10	25	130	25	1.3

《鎌田橋》			
図面番号	20 / 20	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	鎌田橋 仮受参考図	番 号	/
路線 河川 名	助兼山根線		
工事箇所	東広島市河内町戸野		
東 広 島 市			

参 考 図 書

工 事 名 称： 令和8年度 橋梁長期保全事業
鎌田橋橋梁補修工事

<注意事項>

1 本工事は、数量公開の対象工事です。

2 この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。

数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、
契約上の拘束をするものではありません。

3 その他

・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、広島県制定の建設発生土処分
先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土
受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとしている。搬出先 6578
でいる。

種別	施設の名称	所在地	運搬距離 (km)
土砂・砂質 土・礫質土	有限会社広剛産業福富残 土処分場 1	東広島市福富町上戸野 1701	6.8

・当該業務により発生するAS殻・Co殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている
施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種別	施設の名称	所在地	運搬距離 (km)
As殻	光陽産業（株）豊栄工場	東広島市豊栄町乃美1882- 1	11
Co殻（無筋）	（有）ドイ産業リサイクル 施設	東広島市豊栄町安宿273-3	13.8

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 49 東広島市(河内) 00-08.06.01(0)	《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	08 鋼橋架設工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 09 閉所型・月単位 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2
桁端補修工	1	式			Y3999 レベル3
桁端補修工	1	式			Y4999 レベル4
ガス切断研削仕上げ工	6	箇所			V000000600 00
現場溶接_橋梁補強 すみ肉脚長6mm	5	m			単第0 -0001 表 SPK25040321 00
補強部材取付工 ボルトによる補強部材	3	m			単第0 -0002 表 V000000300 00
高力ボルト本締工	33	部材			単第0 -0003 表 V000000400 00
	218	本			単第0 -0004 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場孔明(鋼構造物) 10本以上/箇所	132	本			SPK25040355 00 単第0 -0005 表
高力六角ボルトF10T(JISB1186)2種A M22×65 単位質量540g/組	172	組			T1020039 00
高力六角ボルトF10T(JISB1186)2種A M22×75 単位質量570g/組	46	組			T1020043 00
【鋼橋門扉等工事原価】 共通仮設費[対象外], 現場管理費[対象外] 一般管理費[対象]					#0044
桁端補強部材 H鋼 (SS400) 350×175×7×11×485 穴あけ加工	2	本			F000001200 00 P4部材
FL当て板補鋼材 SS400 280×625 t=9mm 穴あけ加工	4	枚			F000002500 00
H鋼連結当て板補鋼材(下面) SS400 175×350 t=9mm 穴あけ加工	5	本			F000001700 00
H鋼連結当て板補鋼材(上面) SS400 70×350 t=12mm 穴あけ加工	10	枚			F000001800 00
ソールPL SM400A 300×375 t=9mm 穴あけ加工	5	枚			F000001300 00 P4,A2部材

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
桁端補強部材 H鋼 (SS400) A2部 SS400 350×175×7×11×620 穴あけ加工	3	本			F000001900 00
FL当て板補鋼材 SS400 280×760 t=9mm 穴あけ加工	6	枚			F000001600 00
当て板補鋼材 (下面添板) SS400 175×250 t=12mm 穴あけ加工	1	枚			F000001500 00
当て板補鋼材 (上面添板) SS400 70×300 t=12mm 穴あけ加工	2	枚			F000001400 00
支承取替工	1	式			Y1G032402 レベル3
支承取替 【支承形式I 下部工ブラケット取付の無】 【支承直下部以外のはつりの無】	9	基			Y1G03240201レベル4
支承取替(鋼橋) 支承形式I 下部工ブラケット取付無し	9	基			SPK25040338 00 単第0 -0006 表
ロックボルト D22 SD345	5	m			F000001100 00
【鋼橋門扉等工事原価】 共通仮設費[対象外], 現場管理費[対象外] 一般管理費[対象]					#0044

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
支承プレート SS400	9	枚			F000002100 00
ひび割れ補修工	1	式			Y1G032404 レベル3
低圧注入工法 補修延べ延長L=6.9m エポキシ樹脂系3種注入材	1	構造物			Y1G03240402レベル4
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長25m未満の場合	1	構造物			S1020035 00 単第0 -0007 表
断面修復工	1	式			Y1G032405 レベル3
左官工法 V=1.05m3 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有】	1	構造物			Y1G03240501レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積1.05m3	1	構造物			S1020041 00 単第0 -0008 表
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D13 単位質量0.995kg/m	0.9	kg			T0181 00
根巻工	1	式			Y1G032405 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
根巻工 18N					Y1G03240501レベル4
	3	箇所			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB コンクリートポンプ車打設					SPK25040157 00
	18	m3			単第0 -0009 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物					SPK25040159 00
	50	m2			単第0 -0010 表
表面保護工					Y1G032406 レベル3
	1	式			
下地処理工 水洗い・サンダーケレン					Y4999 レベル4
	114	m2			
下地処理工（表面含浸工） 水洗い・サンダーケレン					V000000200 00
	114	m2			単第0 -0011 表
含浸材塗布工 ケイ酸塩系表面含浸材					Y4999 レベル4
	114	m2			
表面含浸工 スーパーシールド相当品					V0000000031 00
	114	m2			単第0 -0012 表
下部補修工					Y3999 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
パラペット設置工 18N	1	箇所			Y4999 レベル4
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	3	m3			SPK25040015 00 単第0 -0013 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	2	m3			SPK25040157 00 単第0 -0014 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	8	m2			SPK25040159 00 単第0 -0010 表
基礎碎石 碎石の厚さ20.0cmを超え22.5cm以下 RC-40	3	m2			SPK25040034 00 単第0 -0015 表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離7.5km以下(6.0km超)	3	m3			SPK25040002 00 単第0 -0016 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
建設発生土 砂・砂質土・礫質土 有限会社広剛産業福富残土処分場 1	3	m3			F000000500 00
舗装工	1	式			Y1G0304 レベル2

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
アスファルト舗装工	1	式			Y1E020404 レベル3
ひび割れ補修工	3	m			Y4999 レベル4
クラック補修	3	m			SPK25040308 00 単第0 -0017 表
加熱注入目地材 アスファルト系,低弾性 (参考)ボンドシールS-164	0.5	kg			T3526 00
表層(車道・路肩部) 再生密粒度As 1層当り平均仕上厚30mm	19	m2			Y1E02040409レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	19	m2			SPK25040244 00 単第0 -0018 表
橋梁付属物工	1	式			Y1G0321 レベル2
伸縮継手工	1	式			Y1G032101 レベル3
伸縮目地補修工	17.7	m			Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
伸縮目地補修工					V000000100 00
	17.7	m			単第0 -0019 表
クラック防止シート張					SPK25040310 00
	10	m			単第0 -0020 表
舗装用クラック防止材 幅50cm×長15m 引張強度110kN/m					T2130003 00
	10	m			
水切り工					Y3999 レベル3
	1	式			
水切り工 EPDM系					Y4999 レベル4
	87	m			
橋梁用水切り材設置工 床版下面					F0000014000 00
	87	m			
ウォーターカッター					F000002400 00
	87	m			
現場塗装工					Y1G0325 レベル2
	1	式			
塗膜除去工					Y3999 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
塗膜除去工 塗布回数2回	420	m2			Y4999 レベル4
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去	420	m2			V0000000040 00
廃材回収・積込 塗膜くず	210	m2			Y4999 レベル4 単第0 -0021 表
廃材回収・積込 塗膜くず 時間的制約なし	210	m2			F0000009000 00
ペール缶 UN-20L	116	缶			F0000010000 00
塗膜除去養生設備・シート設置撤去 シート設置撤去回数2回	375	m2			Y4999 レベル4
塗膜除去養生設備・シート設置撤去	375	m2			V0000000041 00 単第0 -0022 表
橋梁塗装工	1	式			Y1G032501 レベル3
塗替塗装 清掃・水洗い	210	m2			Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
塗替塗装 清掃・水洗い	210	m2			SDT00029 00 単第0 -0023 表
素地調整 素地調整2種	210	m2			Y1G03250101レベル4
塗替塗装 素地調整	210	m2			SDT00029 00 単第0 -0024 表
下塗り塗装 防食下地 有機ジンクリッチペイント（2回塗り/層）	210	m2			Y1G03250102レベル4
塗替塗装 下塗り塗装	210	m2			SDT00029 00 単第0 -0025 表
下塗り塗装 下塗り塗装 変性エポキシ樹脂塗料（2層）	210	m2			Y1G03250102レベル4
塗替塗装 下塗り塗装	210	m2			SDT00029 00 単第0 -0026 表
中塗り塗装 中塗り塗装 ふっ素樹脂塗料	210	m2			Y1G03250103レベル4
塗替塗装 中塗り塗装	210	m2			SDT00029 00 単第0 -0027 表

本工事費 内訳表

頁0 -0012

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
上塗り塗装 上塗り塗装 ふっ素樹脂塗料	210	m2			Y1G03250104レベル4
塗替塗装 上塗り塗装	210	m2			SDT00029 00 単第0 -0028 表
構造物撤去工	1	式			Y1G0327 レベル2
構造物取壊し工	1	式			Y1G032706 レベル3
舗装版切断 アスファルト舗装版	36	m			Y1G03270602レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	36	m			SPK25040307 00 単第0 -0029 表
舗装版破碎 アスファルト舗装版	19	m2			Y1G03270603レベル4
舗装版破碎積込(小規模土工)	19	m2			SPK25040018 00 単第0 -0030 表
運搬処理工	1	式			Y1G032716 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0013

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 アスファルト殻	0.8	m3			Y1G03271601レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離12.0km以下(9.0km超)	0.8	m3			SPK25040155 00 単第0 -0031 表
殻運搬 コンクリート殻（無筋）	1	m3			Y1G03271601レベル4
殻運搬 吹付法面とりこわし(モルタル) DID区間無し 運搬距離18.0km以下(13.5km超)	1	m3			SPK25040155 00 単第0 -0032 表
殻処分 アスファルト殻	2	t			Y1G03271602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
殻処分費 アスファルト殻 光陽産業（株）豊栄工場	2	t			F0000015000 00
殻処分 無筋コンクリート殻	3	t			Y1G03271602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費 内訳表

頁0 -0014

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻処分費 無筋コンクリート殻 (株)ドイ産業リサイクル施設	3	t			F0000016000 00
スクラップ処分費	0.5	t			Y4999 レベル4
【機器単体費】 共通仮設費[対象外], 現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
スクラップ処分費 H3	0.5	t			F000002600 00
現場発生品運搬	1	回			Y1G03271603レベル4
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離11.0km以下(8.5km超)	0.5	t			SPK25040411 00
仮設工	1	式			単第0 -0033 表 Y1G0328 レベル2
仮設工	1	式			Y3999 レベル3
足場工 安全ネット シート防護 朝顔両側設置	190	m2			Y4999 レベル4 F=0.5

本工事費 内訳表

頁0 -0015

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
足場工(床版補強工) 桁高1.5m未満	190	m2			S3030011 00 単第0 -0034 表
足場工(朝顔)(床版補強工) 両側朝顔	190	m2			S3030013 00 単第0 -0035 表
防護工(床版補強工) シート張防護工 両側朝顔	190	m2			S3030015 00 単第0 -0036 表
仮受工	50	空m3			Y4999 レベル4
支保工 くさび結合支保 f<=40(t<=120)	50	空m3			S0370 00 単第0 -0037 表
環境対策資機材 負圧集塵装置、吸気・排気ダ外、真空掃除機	1	式			Y4999 レベル4
負圧集塵装置 約5~19.8m3/min	1	台・月			F0000017000 00
負圧集塵装置用1次フィルター 1枚/日	8	枚			F0000019000 00
負圧集塵装置用2次フィルター 1枚/1週	2	枚			F0000020000 00

本工事費 内訳表

頁0 -0016

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
負圧集塵装置用チャコールフィルター	1	枚			F000000800 00
負圧集塵装置用HEPAフィルター 1個/3ヵ月	1	個			F0000021000 00
吸気用ダクト	10	m			F0000023000 00
排気用ダクト	10	m			F0000024000 00
真空掃除機	1	台・月			F0000034000 00
真空掃除機用1次フィルター	2	枚			F0000037000 00
真空掃除機用2次フィルター	1	枚			F000000200 00
真空掃除機用チャコールフィルター	1	枚			F000000900 00
真空掃除機用HEPAフィルター 3ヵ月/個	1	個			F0000038000 00

本工事費 内訳表

頁0 -0017

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
エアーシャワー					F0000026000 00
	1	台・月			
エアーシャワー用1次フィルター 1枚/週					F0000028000 00
	2	枚			
エアシャワー用チャコールフィルター					F000001000 00
	1	枚			
エアーシャワー用HEPAフィルター 3ヵ月/個					F0000029000 00
	1	個			
セキュリティルーム パイプ・シートセット					F0000031000 00
	1	セット			
土留・仮締切工					Y1G032804 レベル3
	1	式			
土のう					Y1G03280419レベル4
	70	袋			
大型土のう製作・設置(BH設置)					SHD10003 00
	70	袋			単第0 -0038 表
ほぐし土					F000002300 00
	70	m3			

本工事費 内訳表

頁0 -0018

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離7.5km以下(6.0km超)	70	m3			SPK25040002 00 単第0 -0040 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
建設発生土 砂・砂質土・礫質土 有限会社広剛産業福富残土処分場 1	70	m3			F000000500 00
交通管理工	1	式			Y1G032821 レベル3
交通誘導警備員	19	人			Y1G03282101レベル4
交通誘導警備員B	19	人			R0369 00
※※直接工事費※※ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06 レベル2

本工事費 内訳表

頁0 -0019

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
技術管理費					YZZ06001 レベル3
	1	式			
塗膜剥離試験 3種3回程度					YZZ06001006レベル4
	1	式			
塗膜剥離試験					F000002200 00
	9	回			
安全費					Z0009
安全費					YZZ09 レベル2
	1	式			
安全費					YZZ09001 レベル3
	1	式			
呼吸用保護具等費用					YZZ09001002レベル4
	1	式			
電動ファン付き呼吸用保護具					F0000040000 00
	4	台			
呼吸用保護具用フィルター 2個/日					F0000041000 00
	64	個			

本工事費 内訳表

頁0 -0020

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
化学防護服 4枚/日	64	枚			F0000045000 00
手袋	64	双			F0000047000 00
化学防護長靴	4	足			F000000700 00
シューズカバー	64	足			F0000046000 00
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					

本工事費 内訳表

頁0 -0021

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
※※工事原価※※					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額……… 率………					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額……… 率………					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
※※工事価格※※					
※※消費税相当額※※ 計算情報…… 対象額……… 率………					
※※工事費計※※					
※※契約保証費計※※					

施工単価表

頁0 -0022

ガス切断研削仕上げ工

V000000600

單第0 -0001 表

5

m

当り

[illegible]

施工単価表

現場溶接_橋梁補強

SPK25040321

単第0 -0002 表

すみ肉脚長6mm

機械構成比:0.00%

労務構成比:100.00%

材料構成比:0.00%

市場単価構成比:0.00%

標準単価:11,180.00000

1m 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
溶接工	78.61%		溶接工		RTPC00019 RTPT00019
土木一般世話役	16.63%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 すみ肉脚長6mm					

施工単価表

頁0 -0024

補強部材取付工
ボルトによる補強部材

V000000300

單第0 -0003 表

16

部材 当り

[illegible]

施工単価表

高力ボルト本締工

V000000400

單第0 -0004 表

頁0 -0025

本 当り

[illegible]

施工単価表

現場孔明(鋼構造物)

10本以上/箇所

機械構成比: 0.24%

労務構成比: 99.17%

材料構成比: 0.59%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0005 表

1

標準単価:

本 当り

1,265.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
発動発電機 ガソリンエンジン駆動 定格容量1kVA	0.24%		発動発電機 ガソリンエンジン駆動 定格容量1kVA		MTPC00092 MTPT00092
橋りょう特殊工	65.04%		橋りょう特殊工		RTPC00020 RTPT00020
橋りょう世話役	19.01%		橋りょう世話役		RTPC00021 RTPT00021
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.59%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1 10本以上/箇所			B=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0027

支取替(鋼橋)

SPK25040338

単第0 -0006 表

1

基 当り

支形式I

下部工ブラケット取付無し

標準単価:

681,320.00000

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
橋りょう特殊工	38.65%		橋りょう特殊工		RTPC00020 RTPT00020
特殊作業員	15.78%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
橋りょう世話役	15.25%		橋りょう世話役		RTPC00021 RTPT00021
普通作業員	9.69%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 支形式I			C=1 下部工ブラケット取付無し		

施工単価表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長25m未満の場合

S1020035

単第0 -0007 表

1

構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.500	人			
特殊作業員	2.400	人			
普通作業員	1.800	人			
ひび割れ注入材 エポキシ樹脂系3種 シーカデュアEP-301	0.140	kg			
ひび割れ注入シール材 エポキシ樹脂 アサヒボンド551	0.904	kg			
低圧注入器	28.000	本			
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=1000 【F】 注入材(kg) C=2000 【F】 シール材(kg) E=3000 【F】 低圧注入器具(個)			B=0.14 D=0.66 F=28	注入材の必要数量(kg/構造物) シール材の設計数量(kg/構造物) 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)	

施工単価表

頁0 -0029

断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)

S1020041
修復延べ体積1.05m3

單第0 -0008 表

1 構造物 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0030

コンクリート
無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB
機械構成比: 4.02%

SPK25040157
コンクリートポンプ車打設
労務構成比: 13.36%

材料構成比: 82.62%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0009 表

1
標準単価:

m3 当り
26,692.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h	3.99%		コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h		MTPC00050 MTPT00050
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	6.47%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.86%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	2.09%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	1.81%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	81.82%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.80%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0031

コンクリート

SPK25040157

單第0 -0009 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

コンクリートポンプ車打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.02%

勞務構成比：

13.36%

材料構成比: 82.62%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

26,692.00000

[illegible]

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK25040159
鉄筋・無筋構造物
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0010 表

1
標準単価:

m2 当り
10,100.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.66%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.51%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

頁0 -0033

下地处理工（表面含浸工）

V000000200

單第0 -0011 表

水洗い・サンダーケレン

100

m2

当り

[illegible]

施工単価表

表面含浸工
スーパーシールド相当品

V0000000031

単第0 -0012 表

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.5	人			
特殊作業員	2	人			
普通作業員	2.5	人			
けい酸塩系表面保護材 スーパーシールド	28.8	L			
塗布量確認材 スーパーシールド	1	セット			
機械費 スーパーシールド工法 薬剤噴霧器、給水タンク、発電機（2KVA）	1	式			
雑材料	10	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

床掘り
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 18.73% 労務構成比: 74.16% 材料構成比: 7.11% 市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0013 表

1
標準単価: m3 当り
2,247.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	18.73%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	40.26%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.90%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.11%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

頁0 -0036

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0014 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.60%

労務構成比:

33.17%

材料構成比: 63.23%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

35,559.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	3.40%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.34%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	7.85%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	6.58%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	6.53%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	61.44%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.69%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0037

コンクリート

SPK25040157

單第0 -0014 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.60% 勞務構成比:

33.17% 材料構成比: 63.23%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

35,559.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0038

基礎碎石 SPK25040034 単第0 -0015 表 1 m2 当り
 碎石の厚さ20.0cmを超え22.5cm以下 RC-40
 機械構成比: 5.05% 労務構成比: 74.17% 材料構成比: 20.78% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,906.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックハウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	5.02%		バックハウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	35.65%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.05%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	13.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.99%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40～0mm	16.08%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	4.67%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0039

基礎碎石

SPK25040034

單第0 -0015 表

碎石の厚さ20.0cmを超え22.5cm以下

RC-40

機械構成比: 5.05% **勞務構成比:**

74.17%

材料構成比: 20.78%

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価：

m2 当り
1,906.40000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0040

土砂等運搬
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 26.52% 労務構成比: 61.90% 材料構成比: 11.58% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040002
DID区間無し 距離7.5km以下(6.0km超)

単第0 -0016 表
1
標準単価: 2,287.80000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	26.52%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=33 距離7.5km以下(6.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0041

クラック補修

SPK25040308

単第0 -0017 表

1 m 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 302.22000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	64.73%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.33%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	11.23%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

頁0 -0042

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0018 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当たり平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.43% 労務構成比:

44.34%

材料構成比: 55.23%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,891.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	0.24%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40～60kg	0.13%		振動コンパクト 前進型 運転質量40～60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.57%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.05%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.28%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	50.52%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00024 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	4.48%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

頁0 -0043

表層(車道・路肩部)
平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)
機械構成比: 0.43%

SPK25040244
1層当り平均仕上厚30mm
労務構成比: 44.34%

材料構成比: 55.23%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0018 表

1
標準単価:

m2 当り
2,891.10000

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油		0.17%		ガソリンレギュラースタンド			TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油		0.03%		軽油パトロール給油			TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)				その他(材料)			EZ009
積算単価				積算単価			E9999
A=1 C=7 G=1 I=1	平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 再生密粒度アスファルト混合物(13) -(全ての費用)			B=30 E=2 H=1	1層当り平均仕上り厚(mm) PK-3 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)							

施工単価表

伸縮目地補修工

V000000100

単第0 -0019 表

頁0 -0044

17.7 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1	人			
特殊作業員	2	人			
普通作業員	1	人			
シール材	8.5	L			
バックアップ材	17.7	m			
プライマー	1.95	kg			
雑材料	10	%			#09
*** 合計 ***	17.7	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施工単価表

頁0 -0045

クラック防止シート張

SPK25040310

単第0 -0020 表

機械構成比: 7.57% 労務構成比: 91.58% 材料構成比: 0.85% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m 当り 340.46000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
タイヤローラ 普通型・排2014 運転質量13～14t	6.59%		タイヤローラ 普通型・排2014 運転質量13～14t		MTPC00177 MTPT00177
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	50.01%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	18.21%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	5.77%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	5.65%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.74%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0046

クラック防止シート張

SPK25040310

單第0 -0020 表

1 m 当り

機械構成比:	7.57%	勞務構成比:	91.58%	材料構成比:	0.85%	市場単価構成比:	0.00%	標準単価:	340.46000
--------	-------	--------	--------	--------	-------	----------	-------	-------	-----------

[illegible]

施工単価表

頁0 -0047

塗膜剝離剤塗布・塗膜除去

V0000000040

單第0 -0021 表

1

m2

当り

[illegible]

施工単価表

塗膜除去養生設備・シート設置撤去

V0000000041

單第0 -0022 表

頁0 -0048

1

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0049

**塗替塗装
清掃・水洗い**

SDT00029

單第0 -0023 表

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0050

塗替塗裝 素地調整

SDT00029

單第0 -0024 表

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0051

塗替塗装
下塗り塗装

SDT00029

單第0 -0025 表

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0052

塗替塗装
下塗り塗装

SDT00029

單第0 -0026 表

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0053

塗替塗装
中塗り塗装

SDT00029

單第0 -0027 表

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0054

塗替塗装
上塗り塗装

SDT00029

單第0 -0028 表

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0055

舗装版切断

SPK25040307

単第0 -0029 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.05%

労務構成比:

58.43%

材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

700.44000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.24%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.39%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.81%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0056

鋪裝版切断

SPK25040307

單第0 -0029 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.05%

勞務構成比：

58.43%

材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

700.44000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0057

舗装版破碎積込(小規模土工)

SPK25040018

単第0 -0030 表

機械構成比: 20.13% 労務構成比: 71.97% 材料構成比: 7.90% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,747.00000 1 m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.13%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.90%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 20.25%

SPK25040155
DID区間無し 運搬距離12.0km以下(9.0km超)
労務構成比: 71.03%

単第0 -0031 表
材料構成比: 8.72%

1
標準単価: 7,775.00000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.03%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 C=1 E=1 舗装版破碎 DID区間無し -(全ての費用)			B=4 D=47 機械積込(小規模土工) 運搬距離12.0km以下(9.0km超)		

施工単価表

頁0 -0059

殻運搬

吹付法面とりこわし(モルタル)

機械構成比: 20.72%

SPK25040155

DID区間無し

労務構成比: 65.82%

運搬距離18.0km以下(13.5km超)

材料構成比: 13.46%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0032 表

1

標準単価:

m3

当り

3,981.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>ダンプトラック 積載質量4t	20.72%		ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4t積級		KTPC00055 KTPT00055
運転手(一般)	65.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	13.46%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=4 C=1 E=1	吹付法面とりこわし(モルタル) DID区間無し -(全ての費用)		B=1 D=55	機械積込 運搬距離18.0km以下(13.5km超)	

施工単価表

頁0 -0060

現場発生品及び支給品運搬
クレーン装置付BT2t積2.9t吊
機械構成比: 13.79% 労務構成比: 83.40% 材料構成比: 2.81% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040411
片道運搬距離11.0km以下(8.5km超)

単第0 -0033 表
標準単価: 1 t 当り
5,418.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.79%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.15%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.25%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.81%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=10 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離11.0km以下(8.5km超)			B=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0061

足場工(床版補強工)

S3030011

單第0 -0034 表

桁高1.5m未満

1

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0062

足場工（朝顔）（床版補強工）

S3030013

單第0 -0035 表

1

m2

当り

兩側朝顔

[illegible]

施工単価表

頁0 -0063

防護工（床版補強工）

S3030015

單第0 -0036 表

シート張防護工

兩側朝顏

当り

[illegible]

施工単価表

支保工
くさび結合支保

S0370

単第0 -0037 表

f<=40(t<=120)

100

空m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.400	人			
型わく工	1.300	人			
とび工	3.300	人			
普通作業員	3.300	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	0.500	日			
諸雑費	33	%			#09
*** 合計 ***	100	空m3			
*** 単位当たり ***	1	空m3			
A=2 くさび結合支保			B=1 f<=40(t<=120)		

施工単価表

大型土のう製作・設置(BH設置)

SHD10003

単第0 -0038 表

頁0 -0065

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.294	人			1*0.294
特殊作業員	0.294	人			1*0.294
普通作業員	0.294	人			1*0.294
1t土のう 丸型,径110cm×長108cm	10.000	枚			
機-28_バックホウ運転(賃料) C付2.9t吊_山積0.45m3_後方超小型旋回型	0.294	日			単第0-0039 表
諸雑費	1	%			#09
*** 合計 ***	10	袋			
*** 単位当たり ***	1	袋			
A=1 1t土のう(丸型,径110cm×長108cm)					

施工単価表

頁0 -0066

機-28_バックホウ運転(賃料)
C付2.9t吊_山積0.45m3_後方超小型旋回型

S9035

單第0 -0039 表

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0067

土砂等運搬
標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 44.67% 労務構成比: 40.44% 材料構成比: 14.89% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040002
DID区間無し 距離7.5km以下(6.0km超)

単第0 -0040 表
標準単価: 1
m3 当り
1,575.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	40.44%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=23 距離7.5km以下(6.0km超)			B=3 バックホウ山積0.45m3(平積0.35m3) D=1 DID区間無し		

鎌 田 橋 補 修 工 数 量 総 括 表

種 別	規 格・寸 法		単 位	数 量	備 考
ひび割れ注入工	ひび割れ注入延長	0.2≦W<1.0	m	6.85	下部工
	ひび割れ注入材	エポキシ樹脂	kg	0.140	
	ひび割れシール材	エポキシ樹脂	kg	0.756	
	注入器具		個	23	
断面修復工	はつり工	平均深さ=30mm	m2	2.84	上部工(A-4)
	はつり工	平均深さ=30mm	m2	16.58	上部工(B-3)
	はつり工	平均深さ=100mm	m2	37.57	下部工
	断面修復	塩分吸着剤配合ポリマーセメントモルタル	m3	0.582	0.085+0.497
	断面修復	ポリマーセメントモルタル	m3	3.757	
	断面修復材	塩分吸着剤配合ポリマーセメントモルタル	kg	1256.23	183.71+1072.52
	断面修復材	ポリマーセメントモルタル	kg	8101.03	
	鉄筋取替工	SD345 D13 L=300mm	kg	0.896	上部工
表面保護工	表面含浸	ケイ酸ナトリウム系 表面含浸材	m2	113.8	
下部補修工	パラペット設置	コンクリート	m3	1.870	
		型枠	m2	8.05	
		基礎碎石	m2	2.72	
	撤去工	土砂撤去	m3	0.16	
路面補修工	カッター		m	35.4	
	舗装撤去・復旧		m2	17.7	
	伸縮目地補修工		m	17.7	
	ひび割れ補修工	ブローンアスファルト	m	3.4	
	水切り工	EPDMスポンジ	m	86.7	
塗装塗替工	塗装塗替工	RC-II 塗装系	m2	211.5	
支取替工・主桁部分取替工・主桁当て板工	鋼材重量		kg	509	
	メッキ重量		kg	89	
	ボルト	F10T M22	本	218	
	主桁切断延長		m2	4.58	
	工場塗装面積		m2	1.90	

ひび割れ注入工集計表

[illegible]

ひび割れ注入工数量計算書 (下部工)

1) ひび割れ注入延長

$$\text{ひび割れ注入工詳細数量表参照} \quad \Sigma L = 6.85 \text{ m}$$

2) ひび割れ注入材数量(エポキシ樹脂)

$$0.2 \leq W < 1.0 \quad \text{平均幅} = 0.31 \text{ mm} \quad \text{平均深さ} = 0.05 \text{ 仮定}$$

$$W = \text{ひび割れ幅(m)} \times \text{平均深さ(m)} \times 1000 \times \text{延長(m)} \times \text{比重} \times \text{ロス率}$$

$$W = 0.00031 \times 0.05 \times 1000 \times 6.85 \times 1.15 \times 1.15 \\ = 0.140 \text{ kg}$$

3) ひび割れシール材数量(エポキシ樹脂)

$$\text{幅} \quad 30 \text{ mm} \quad \times \quad \text{厚さ} \quad 2 \text{ mm}$$

$$W = \text{シール幅(m)} \times \text{シール厚(m)} \times 1000 \times \text{延長(m)} \times \text{比重} \times \text{ロス率}$$

$$W = 0.03 \times 0.002 \times 1000 \times 6.85 \times 1.60 \times 1.15 \\ = 0.756 \text{ kg}$$

4) 注入器具

$$N = \text{延長(m)} / \text{設置間隔(m)}$$

$$N = 6.85 / 0.3 \\ = 23 \text{ 個}$$

ひび割れ注工詳細数量表

1/1

[illegible]

断面修復工集計表

[illegible]

断面修復工数量計算書 (上部工)

※左官工(A-4)

1) はつり工 (平均深さ=30mm)

断面修復工詳細数量表参照 $\Sigma A = 2.84 \text{ m}^2$

2) 断面修復工

断面修復工詳細数量表参照 $\Sigma A = 2.840 \text{ m}^2$
 $\Sigma V = 0.085 \text{ m}^3$

断面修復材 (塩分吸着剤配合ポリマーセメントモルタル)

$W = \text{面積}(\text{m}^2) \times \text{平均厚}(\text{m}) \times \text{比重} \times \text{ロス率}$

$$W = 2.840 \times 0.03 \times 1875 \times 1.15 = 183.71 \text{ kg}$$

※吹付工(B-3)

1) はつり工 (平均深さ=30mm)

断面修復工詳細数量表参照 $\Sigma A = 16.58 \text{ m}^2$

2) 断面修復工

断面修復工詳細数量表参照 $\Sigma A = 16.580 \text{ m}^2$
 $\Sigma V = 0.497 \text{ m}^3$

断面修復材 (塩分吸着剤配合ポリマーセメントモルタル)

$W = \text{面積}(\text{m}^2) \times \text{平均厚}(\text{m}) \times \text{比重} \times \text{ロス率}$

$$W = 16.580 \times 0.03 \times 1875 \times 1.15 = 1072.52 \text{ kg}$$

3) 鉄筋取替工

SD345 D13 L=300mm

N=3箇所

$$0.995 \times 0.30 \times 3 = 0.896 \text{ kg}$$

断面修復工数量計算書 (下部工)

1) はつり工 (平均深さ=100mm)

断面修復工詳細数量表参照 $\Sigma A = 37.57 \text{ m}^2$

2) 断面修復工

断面修復工詳細数量表参照 $\Sigma A = 37.570 \text{ m}^2$
 $\Sigma V = 3.757 \text{ m}^3$

断面修復材 (ポリマーセメントモルタル)

$W = \text{面積}(\text{m}^2) \times \text{平均厚}(\text{m}) \times \text{比重} \times \text{ロス率}$

$$\begin{aligned} W &= 37.570 \times 0.1 \times 1875 \times 1.15 \\ &= 8101.03 \text{ kg} \end{aligned}$$

断 面 修 復 工 詳 細 数 量 表							平均深さ 30mm(上部工) 100mm(下部工)
位 置			単位	数 量			備 考
				寸法(mm)	面積(m2)	計	
上部工 (1径間)	A1～P1	D1(T)	m2	140 × 100	0.01	0.11	剥離・鉄筋露出
	A1～P1	D2(T)	m2	300 × 200	0.06		剥離・鉄筋露出
	A1～P1	D3(T)	m2	140 × 100	0.01		剥離・鉄筋露出
	A1～P1	D4(T)	m2	140 × 100	0.01		剥離・鉄筋露出
	A1～P1	D5(T)	m2	140 × 100	0.01		剥離・鉄筋露出
	A1～P1	D6(T)	m2	140 × 100	0.01		剥離・鉄筋露出
上部工 (2径間)	P1～P2	D1(T)	m2	140 × 100	0.01	0.49	剥離・鉄筋露出
	P1～P2	D2(T)	m2	140 × 100	0.01		剥離・鉄筋露出
	P1～P2	D3(T)	m2	200 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P1～P2	D4(T)	m2	160 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P1～P2	D5(T)	m2	160 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P1～P2	D6(T)	m2	160 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P1～P2	D7(T)	m2	160 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P1～P2	D8(T)	m2	300 × 800	0.24		剥離・鉄筋露出
	P1～P2	D9(T)	m2	140 × 100	0.01		剥離・鉄筋露出
	P1～P2	D10(T)	m2	300 × 100	0.03		剥離・鉄筋露出
	P1～P2	D11(T)	m2	300 × 100	0.03		剥離・鉄筋露出
	P1～P2	D12(T)	m2	200 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P1～P2	D13(T)	m2	200 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P1～P2	D14(T)	m2	200 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
上部工 (3径間)	P2～P3	D1(T)	m2	160 × 100	0.02	0.85	剥離・鉄筋露出
	P2～P3	D2(T)	m2	160 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P2～P3	D3(T)	m2	160 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P2～P3	D4(T)	m2	160 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P2～P3	D5(T)	m2	210 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P2～P3	D6(T)	m2	160 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P2～P3	D7(T)	m2	210 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P2～P3	D8(T)	m2	300 × 1550	0.47		剥離・鉄筋露出
	P2～P3	D9(T)	m2	160 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P2～P3	D10(T)	m2	160 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P2～P3	D11(T)	m2	160 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P2～P3	D12(T)	m2	160 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P2～P3	D13(T)	m2	160 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P2～P3	D14(T)	m2	250 × 100	0.03		剥離・鉄筋露出
	P2～P3	D15(T)	m2	260 × 100	0.03		剥離・鉄筋露出
	P2～P3	D16(T)	m2	130 × 100	0.01		剥離・鉄筋露出
	P2～P3	D17(T)	m2	130 × 100	0.01		剥離・鉄筋露出
	P2～P3	D18(T)	m2	260 × 100	0.03		剥離・鉄筋露出
	P2～P3	D19(T)	m2	260 × 100	0.03		剥離・鉄筋露出
小 計			m2			1.45	

断 面 修 復 工 詳 細 数 量 表							平均深さ 30mm(上部工) 100mm(下部工)
位 置			単位	数 量			備 考
				寸法(mm)	面積(m2)	計	
上部工 (4径間)	P3～P4	D1(T)	m2	300 × 650	0.20	0.75	剥離・鉄筋露出
	P3～P4	D2(T)	m2	160 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P3～P4	D3(T)	m2	100 × 100	0.01		剥離・鉄筋露出
	P3～P4	D4(T)	m2	100 × 100	0.01		剥離・鉄筋露出
	P3～P4	D5(T)	m2	380 × 100	0.04		剥離・鉄筋露出
	P3～P4	D6(T)	m2	380 × 160	0.06		剥離・鉄筋露出
	P3～P4	D7(T)	m2	190 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P3～P4	D8(T)	m2	190 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P3～P4	D9(T)	m2	190 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P3～P4	D10(T)	m2	190 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P3～P4	D11(T)	m2	300 × 150	0.05		剥離・鉄筋露出
	P3～P4	D12(T)	m2	160 × 250	0.04		剥離・鉄筋露出
	P3～P4	D13(T)	m2	100 × 100	0.01		剥離・鉄筋露出
	P3～P4	D14(T)	m2	300 × 100	0.03		剥離・鉄筋露出
	P3～P4	D15(T)	m2	300 × 400	0.12		剥離・鉄筋露出
	P3～P4	D16(T)	m2	300 × 100	0.03		剥離・鉄筋露出
	P3～P4	D17(T)	m2	200 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P3～P4	D18(T)	m2	300 × 100	0.03		剥離・鉄筋露出
上部工 (5径間)	P4～A2	D1(T)	m2	300 × 300	0.09	0.64	剥離・鉄筋露出
	P4～A2	D2(T)	m2	300 × 100	0.03		剥離・鉄筋露出
	P4～A2	D3(T)	m2	180 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P4～A2	D4(T)	m2	240 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P4～A2	D5(T)	m2	180 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P4～A2	D6(T)	m2	180 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P4～A2	D7(T)	m2	180 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P4～A2	D8(T)	m2	300 × 100	0.03		剥離・鉄筋露出
	P4～A2	D9(T)	m2	300 × 100	0.03		剥離・鉄筋露出
	P4～A2	D10(T)	m2	600 × 300	0.18		剥離・鉄筋露出
	P4～A2	D11(T)	m2	150 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P4～A2	D12(T)	m2	150 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P4～A2	D13(T)	m2	300 × 100	0.03		剥離・鉄筋露出
	P4～A2	D14(T)	m2	300 × 100	0.03		剥離・鉄筋露出
	P4～A2	D15(T)	m2	150 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P4～A2	D16(T)	m2	150 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P4～A2	D17(T)	m2	180 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
	P4～A2	D18(T)	m2	180 × 100	0.02		剥離・鉄筋露出
小 計			m2			1.39	
合 計			m2			2.84	

[illegible]

断 面 修 復 工 詳 細 数 量 表							平均深さ 30mm(上部工) 100mm(下部工)
位 置			単位	数 量			備 考
				寸法(mm)	面積(m2)	計	
下部工 (A2橋台)		D1(H)	m2	300 × 850	0.26	0.38	剥離
		D2(H)	m2	400 × 300	0.12		剥離
下部工 (P1橋脚)	A1側	D3(K)	m2	1100 × 1750	1.93	8.48	欠損
	A1側	D4(H)	m2	250 × 800	0.20		剥離
	A1側	D5(K)	m2	700 × 3800	2.66		欠損
	A1側	D6(K)	m2	400 × 300	0.12		欠損
	A1側	D7(K)	m2	520 × 1750	0.91		欠損
	P2側	D8(K)	m2	700 × 3800	2.66		欠損
下部工 (P2橋脚)	P1側	D9(U)	m2	510 × 150	0.08	12.35	うき
	P1側	D10(K)	m2	1200 × 3880	4.66		欠損
	P1側	D11(K)	m2	500 × 1000	0.50		欠損
	P1側	D12(K)	m2	1200 × 1800	2.16		欠損
	P3側	D13(K)	m2	1200 × 3880	4.66		欠損
	P3側	D14(U)	m2	510 × 150	0.08		うき
	P3側	D15(K)	m2	300 × 200	0.06		欠損
	P3側	D16(K)	m2	300 × 200	0.06		欠損
	P3側	D17(U)	m2	620 × 150	0.09		うき
下部工 (P3橋脚)	P2側	D18(K)	m2	1800 × 3800	6.84	14.24	欠損
	P2側	D19(K)	m2	1100 × 1800	1.98		欠損
	P4側	D20(K)	m2	1300 × 3800	4.94		欠損
	P4側	D21(H)	m2	250 × 200	0.05		剥離
	P4側	D22(K)	m2	1000 × 400	0.40		欠損
	P4側	D23(K)	m2	300 × 100	0.03		欠損
下部工 (P4橋脚)	P3側	D24(H)	m2	400 × 700	0.28	2.12	剥離
	P3側	D25(H)	m2	200 × 700	0.14		剥離
	P3側	D26(H)	m2	400 × 300	0.12		剥離
	P3側	D27(H)	m2	100 × 600	0.06		剥離
	P3側	D28(H)	m2	950 × 800	0.76		剥離
	A2側	D29(H)	m2	950 × 800	0.76		剥離
合 計			m2			37.57	

表面保護工集計表

[illegible]

表 面 含 浸 工 詳 細 数 量 表

[illegible]

下部補修工集計表

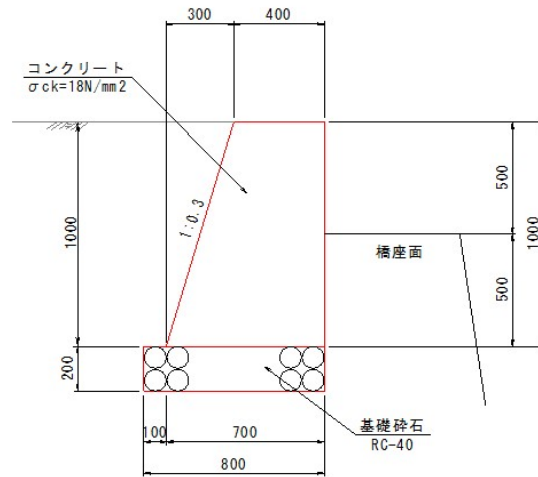
[illegible]

下部補修工数量計算書

1) A2橋台パラペット設置

パラペット構造図 S=1:20

L= 3.4 m



・ コンクリート工

$$V = (0.40 + 0.70) \times 1/2 \times 1.00 \times 3.40 = 1.870 \text{ m}^3$$

・ 型枠工

$$A = (0.40 + 0.70) \times 1/2 \times 1.00 \times 2 + ((1.00 \times 1.044) + 1.00) \times 3.40 = 8.05 \text{ m}^2$$

・ 基礎砕石 (RC-40 t=200mm)

$$A = 0.80 \times 3.40 = 2.72 \text{ m}^2$$

2) 撤去工

・ 土砂撤去

$$V = 0.17 \times 1.53 \times 0.60 = 0.16 \text{ m}^3$$

路面補修工集計表

[illegible]

数量調書

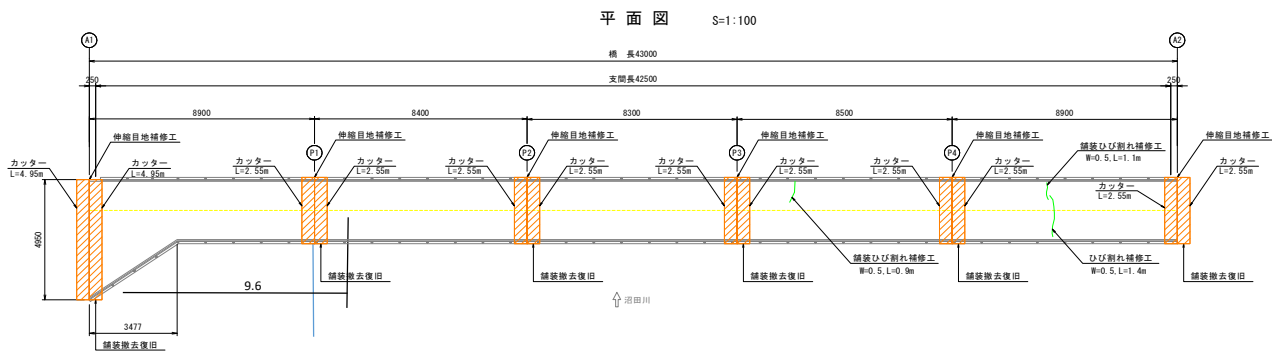
種 別：路面補修工
ブロック：
区 分：
細 別：

[illegible]

单位数量

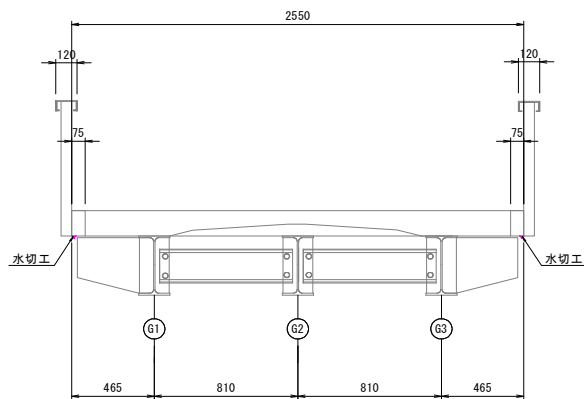
[illegible]

水切工数量計算書



標準断面図 S=1:20

中間部



水切工 EPDMスポンジ

下流側 $8.9+8.4+8.3+8.5+8.9=43.0\text{m}$

上流側 $9.6+8.4+8.3+8.5+8.9=43.7\text{m}$

合計	86.7 m
----	--------

塗装塗替工集計表

[illegible]

塗装塗替工 塗装面積計算書

[illegible]

支承取替工・主桁部分取替工・主桁当て板工 集計表

種 別	細 別	規 格	単 位	数 量	備 考
PL	SM400A	t=9	kg	40	
	SS400	t=12	kg	27	
		t=9	kg	236	
H	SS400	350*175*7*11	kg	70	
DB	SD345	D22	kg	16	
HTB	F10T	M22	kg	119	
N.W	SS400	M20	kg	1	
		鋼重	合計	509	kg
PL	SS400	t=9	kg	72	
DB	SD345	D22	kg	16	
N.W	SS400	M20	kg	1	
		メッキ重量	合計	89	kg
HTB	F10T	M22×75	本	46	
		M22×65	本	172	
			合計	218	本
主桁切断延長	P4		m	1.67	
	A2		m	2.91	
			合計	4.58	m
工場塗装面積			m2	1.90	

鋼重計算書

No. 1

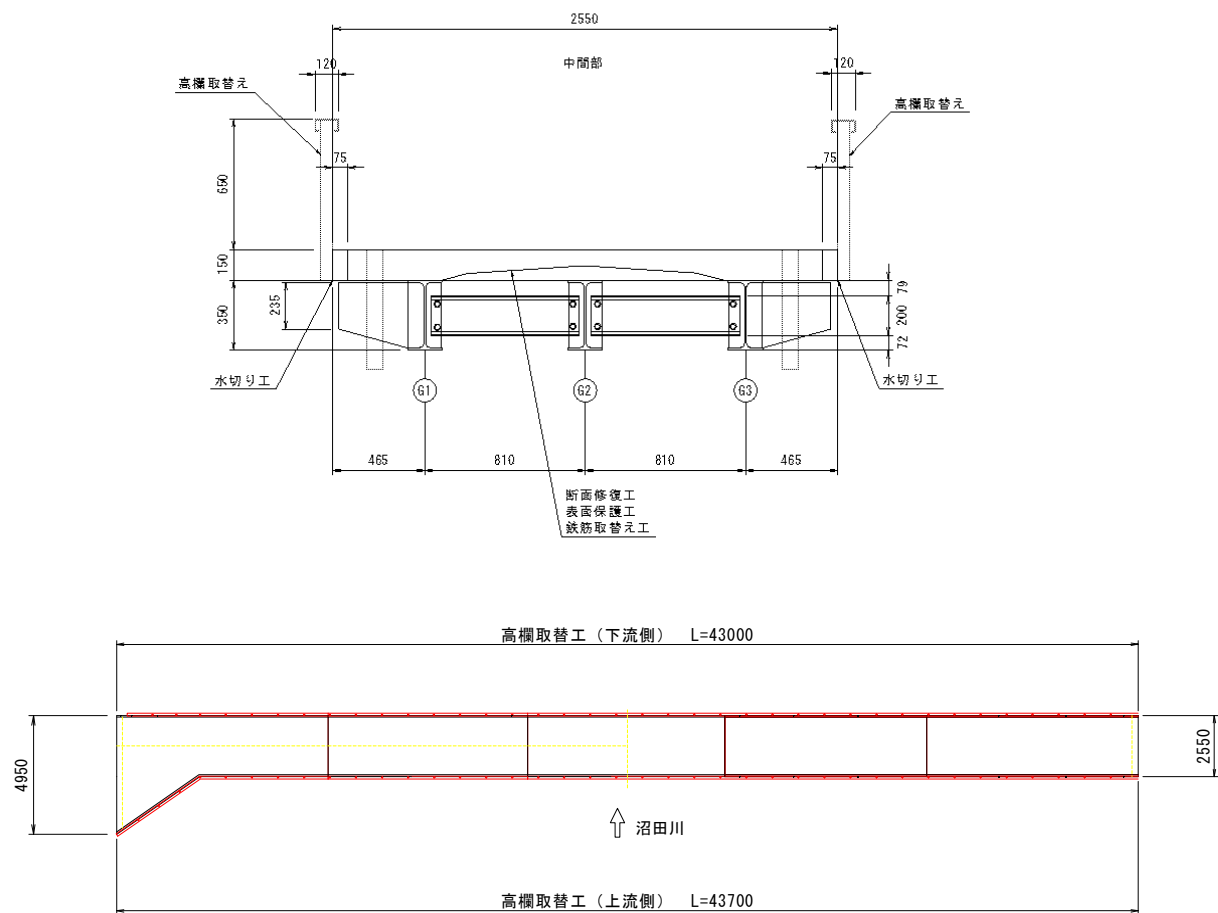
[illegible]

[illegible]

高欄取替工 集計表

[illegible]

高欄取替工数量計算書



高欄取替工
セーフティフェンス側壁取付タイプ

下流側 L = 43.0m
上流側 L = 43.7m

合計 86.7 m

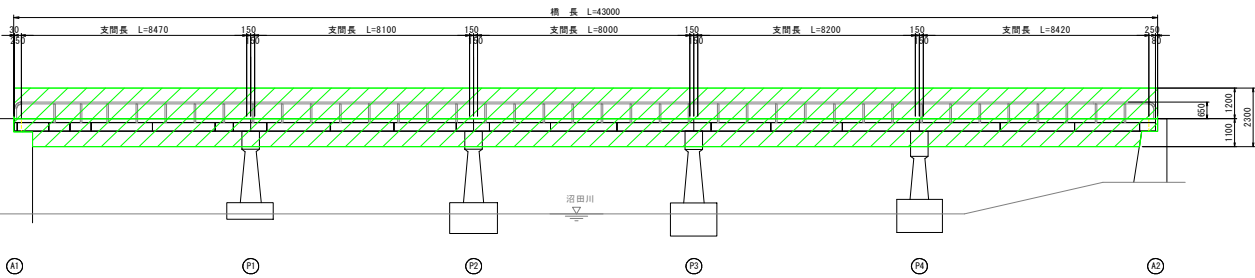
[illegible][illegible]

仮設工 集計表

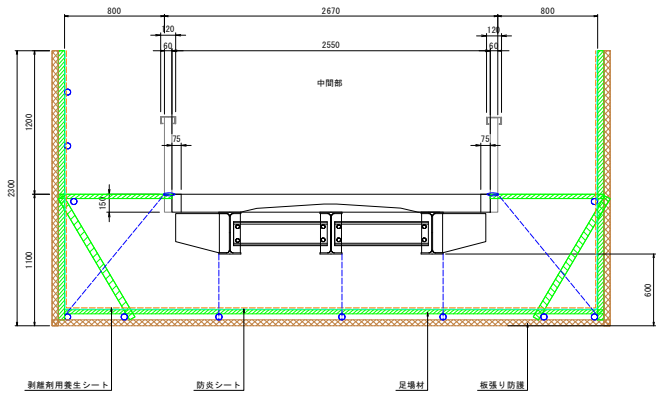
[illegible]

吊足場数量計算書

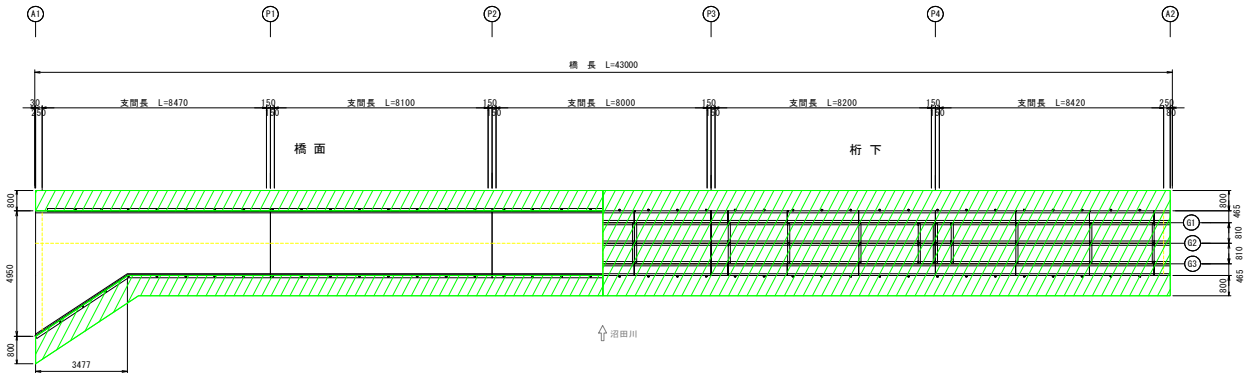
側面図 S=1:100



標準断面図 S=1:20



平面図 S=1:100



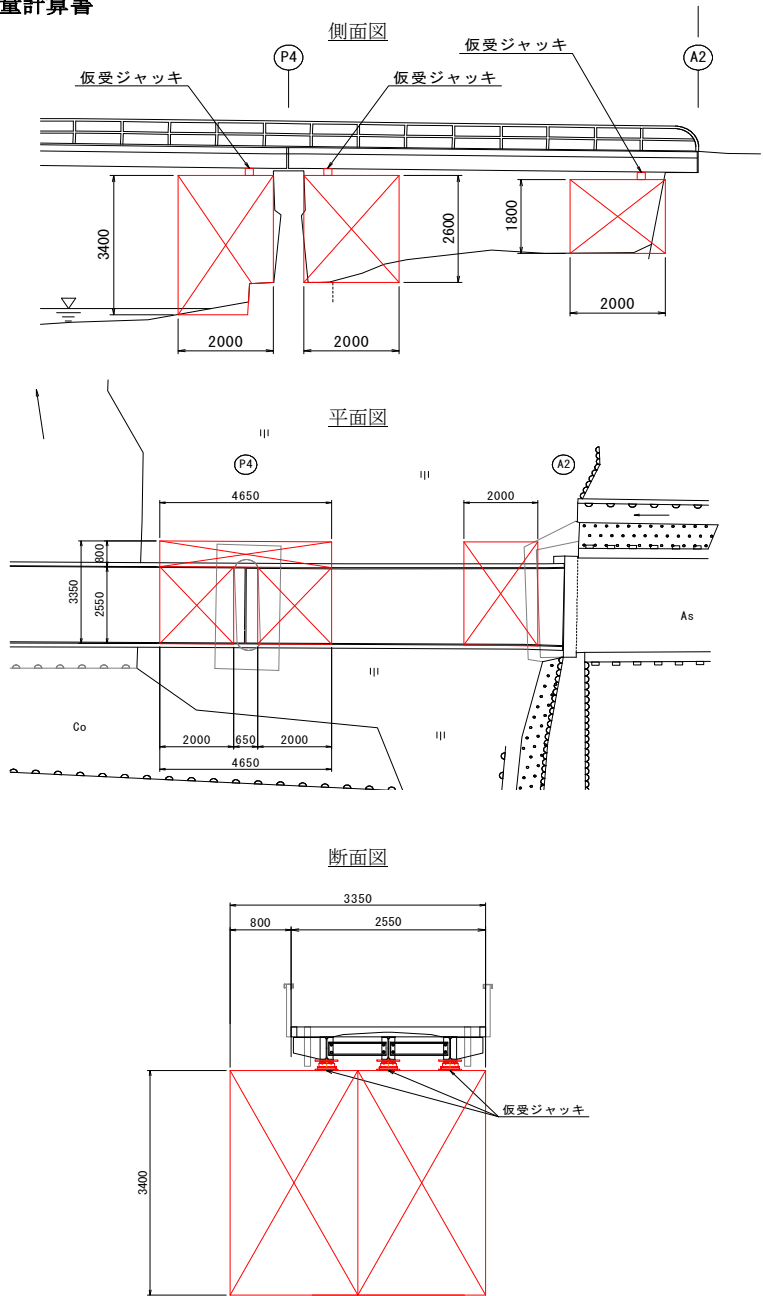
吊り足場

$2.67 \times 43.0 = 114.81 \text{ m}^2$

朝顔

$2 \times 0.8 \times 2.67 = 4.30 \text{ m}^2$

仮受工数量計算書



1) 枠組支保工

・ P4橋脚	$2.55 \times 2.00 \times 3.40 + 2.55 \times 2.00 \times 2.60 + 0.80 \times 4.65 \times (3.40 + 2.60) / 2$	=	41.8 空m3
・ A2橋台	$3.35 \times 2.00 \times 1.80$	=	12.1 空m3
	合計	=	53.9 空m3

2) 仮受ジャッキ

・ P4橋脚	3×2	=	6 基
・ A2橋台		=	3 基
	合計	=	9 基